

会長のページ	医療安全・身の安全	河野 雅行	3
日州医談	2025年4月6日に発生した医療搬送用ヘリコプターの墜落事故を受けてのドクターヘリの動きについて	落合 秀信	4
随 筆	私と音楽とのさまざまな出会い	内田 恒久	6
	都城志布志道路全線開通によせて	柳田喜美子	8
	愛犬は飼い主の夢を見るか? (Rhapsody編)		
	- Adieu! Changii (Part 1)	北村 和生	10
	火葬場のうらばなし	谷口 二郎	12
	行滕山登山	石橋 俊秀	14
エコー・リレー (601)		稲原 明肆, 小牧 文雄	17
メディアの目	ガザのポリオ停戦	神屋由紀子	18
身近なお困りごと相談室		高山 桂	19
国公立病院だより	宮崎大学医学部附属病院	賀本 敏行	26
宮崎大学医学部だより	医療安全管理部	綾部 貴典	28
部会だより	園医部会	高山 修二	29
診療メモ	子どもの健やかな成長のために		
	妊婦さんから睡眠教育を～睡眠は心と体の栄養～	矢野美由紀	76
宮大医学部学生のページ	室内楽部活動紹介	笹田 佳歩	78

あなたできますか? (令和6年度医師国家試験問題より)	16
宮崎県感染症発生動向	20
日赤だより	23
各郡市医師会だより	24
各種委員会 (健康スポーツ医学委員会)	30
各種委員会 (健康教育委員会)	31
九州医師会連合会第422回常任委員会	32
ベストセラー	33
九州医師会連合会第423回常任委員会	34
日医インターネットニュースから	36
医師協同組合だより	38
医師国保組合だより	40
会員の異動・変更報告	44
理事会日誌	46
県医の動き	52
ドクターバンク情報	53
行事予定	59
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	63
あとがき	86

お知らせ	地球温暖化防止対策 (クールビズ) の実施について	7
	日本医師会作成 院内掲示用ポスターについて	35
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	43
	令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生採用のお願い	51
	日州医事へのご意見・ご感想	57
	第9回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	61
	医師年金ご加入のすすめ	75
	郡市医師会への送付文書	80
	医療勤務環境改善支援センター	84
	日州医事原稿募集のお知らせ	85

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

日 没

9月のアフリカ、チヨベ国立公園で偶然撮れた一枚です。夕焼けがオレンジから暗赤色にゆっくりと変わる美しい空を無心で眺めていました。時折聞こえるのは、野生動物の鳴き声のみ。広い広い大地は全くの静寂でした。

高鍋町 おおもり ふみ ひこ
大 森 史 彦

会長のページ

医療安全・身の安全

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

安全・安心で良質の医療を提供するのが私たちの役割です。そのために常時、精進・努力しています。一方、自分たちの身の安全については、過去に教育も経験もなく考えも及ばず、無頓着でした。本年6月に患者が医師を刺したニュースが飛び込んできました。以前には訪問患者にて医師が射殺された事件や、診療所放火による職員・患者さんの死亡事件などがありました。日常でも暴言や粗暴行為などで身の危険を感じた経験のある先生方もあると思われます。突然の犯行であり予防が困難です。医療機関も安全な場ではなくなりつつあります。これから私たちは安全な医療を提供すると同時に自分たちの安全確保も考えなければなりません。

本会では、かねてより県警察本部と医療従事者の安全確保について協議を行っていましたが、6月9日に平居県警本部長、三木生活安全部長をお招きして、小牧副会長とともに「医療機関の安全に関する協定式」を執り行うことができました。本協定により、医療機関と警察との連携がスムーズになり、連絡も容易になります。県警本部長からは「空振りになっても構いません。少しでも異常を感じたら遠慮なく110番にご通知ください」との話で、誠に心強く感じました。今後は安全に対する講話や研修・訓練を進めることで会員先生方の不安が軽減できれば幸いです。

具体的には各郡市医師会が各管轄警察署と密接に連携することが必要です。すでにいくつかの郡市医師会は各地区の警察署と提携を結んでいます。その他の医師会でも締結を検討していただきたいと思います。

防犯グッズも数多く販売されています。非常ベル式、電気ショック式、スプレー式などがあります。防具では「サスマタ」などがあります。また、通報ボタンを取り付けて、押せば警察署やパトカーに直結できるシステムもあるそうです。しかし、いずれも正しく使用するには訓練が必要です。不正確な使用により誤った対応になっては困ります。義務化されている火災防災訓練と同様に、職場の安全訓練も定期的に行う必要があるかもしれません。身近に防犯用具がない場合には、パソコンでも椅子でも身近にあるもので身を守らなければなりません。警察が来るまでの時間稼ぎのためにも日頃から意識と訓練が必要になります。子どものころからの護身術教育も検討するべきかもしれません。

サイバー被害や匿名電話、通信機器を使った被害等々、被害の種類や規模も増加しています。この問題についても、県警察本部、県サイバーセキュリティ協議会と本会で「サイバーセキュリティに関する連携協定」を締結しておりますので、前述の協定と同様に専門家の協力を全面的に得る体制ができています。

会員の皆様も防犯講習会に参加するなどご自身、職員の安全への取組みをお願いします。

(令和7年8月18日)

日州医談



2025年4月6日に発生した医療搬送用ヘリコプターの墜落事故を受けてのドクターヘリの動きについて

宮崎県医師会 常任理事 おち落 あい合 ひで秀 のぶ信

2025年4月6日、福岡和白病院が運航する医療搬送用ヘリコプターが、対馬からの患者を同院へ搬送する途中、壱岐沖で着水転覆し、乗っていた6人は全員救助されたものの、医師と患者ら3人が死亡する痛ましい事故がニュースになりました。国の運輸安全委員会は、「コントロール・ロッド」と呼ばれる機体後部の回転翼を制御する装置が破断していたと明らかにしました。事故原因については現在も調査中のようですが、この事故を受けてドクターヘリの運航にも影響がありましたので報告します。

医療用搬送ヘリコプターとドクターヘリについて

医療機関が独自で導入し運営する医療搬送用ヘリコプターとは異なりドクターヘリは、「救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法（平成19年6月27日制定）」に従い都道府県単位で導入され、指定された基地病院に配備されています。ドクターヘリは、いわゆる“doctor delivery system”で、救急現場に医師・看護師を速やかに搬送して早期に医療介入を行うことにより一人でも多くの“病院まで持たない命”を救うことを目的としています。2025年7月現在、全国に57機が配備されています。宮崎においても2012年4月の運航開始以降2025年7月現在で約6,000件の要請をいただいております。ドクターヘリの運航には厳しい安全基準が課せられています。例えば操縦士は機長時間1,000時間を超えるベテランでないとドクターヘリに従事することはできません。また、不慮の機体不具合にも迅速に対応できるよう整備士も必ず同乗しています。さらに医療スタッフも定期的な安全講習の受講が義務付けられています。機体面においても、宮崎ドクターヘリはエンジンを2基搭載しており、万が一1つのエンジンに不具合が生じて

も、残りのエンジンでの飛行継続が可能となっております。このようにドクターヘリは、安全第一で運航が行われています。

今回の事故を受けての厚生労働省並びに日本航空医療学会の動きについて

今回の事故の翌日である4月7日に厚生労働省は、ドクターヘリの運航に関係する医療機関、消防機関、運航会社などを対象に、「各都道府県におけるドクターヘリの安全運航体制の再確認等について」という通知を発出し、ドクターヘリの運航並びに安全管理について過去に発出した2つの通知（“航空法施行規則第176条の改正に伴うドクターヘリの運航について”および“ドクターヘリの安全運航のための取組について”）の内容をあらためて周知するとともに、安全な運航に向けた対応の再確認・徹底を求めました。

一方、我が国の航空機による救急医療システムの確立と普及を図り、医学・医療の向上に貢献することを目的とした学術団体である日本航空医療学会は、4月18日に「（今回事故に遭遇した）同一機体の再点検・整備」、「ドクターヘリ要請基準と運航要領の確認」、「搬送患者の意思確認」、「患者家族のドクターヘリ同乗制限」、「医師・看護師の搭乗意思の確認」、「水上への緊急不時着時の訓練について」などの提言を行いました。さらに同学会では、医療側視点での事故要因および再発防止策の検討並びにドクターヘリの安全な運用・運航のための基準の改定などを目的として、全国のドクターヘリ基地病院を対象に、「事故後の機体の点検」や「水上飛行」、「搭乗クルーに対するリスクや搭乗継続意思の確認」、「緊急時対応に関する説明・訓練」、「関係者の同乗」などについてのアンケート調査を行いました（このア

ンケート結果は、日本航空医療学会ホームページ<https://jsas1994.jp/>で公開されています。また、ドクターヘリに業務に携わる医師、看護師を対象とした航空機搭乗同意書のフォーマットも作成されました。

これらを受けての宮崎ドクターヘリの取組みについて

1. 機体の点検について

今回の事故を受けて国土交通省は、5月2日に今回の事故機と同系列であるエアバス・ヘリコプターズ（ユーロコプター）式EC135系列型航空機の所有者に対し点検の指示を出しました。その後「コントロール・ロッド」の前方部の非破壊検査およびテール・ローター操縦系統の接合部の検査などの措置も追加で指示しました。宮崎ドクターヘリは、今回の事故機とは異なる機種（BK-117C2 川崎重工）でしたためこの対象にならず、特別な点検は行っておりません。しかしながら定期点検ならびに毎日の始動点検はこれまでどおり継続しています。

2. 医療側スタッフのドクターヘリ業務継続の意思確認

ドクターヘリ業務にかかわる医師・看護師全員に、ドクターヘリ搭乗継続に係る意思確認を行いました。

3. 医療スタッフの安全講習の徹底について

これまで医療スタッフは、年1回の不慮の事故に備えての安全講習受講を義務付けていましたが、今回この安全講習の内容を見直し項目を増やしました。また、他科医師や研修医についても、ドクターヘリに同乗する際は安全講習を義務化し、そのためのビデオも作成しました。

4. 搬送患者の意思確認について

ドクターヘリによる患者様の転院搬送においては、必ず本人並びにご家族に意思確認をさせていただくこととしました。また、転院搬送のみならず救急現場においても、超緊急時を除いてなるべく患者様にドクターヘリ搬送の意思確認をさせていただくこととしました。

5. 患者様家族のドクターヘリ同乗について

これまで患者様の搬送に際し、病院到着

後の緊急検査や手術なども想定し、家族の方に同乗していただくこともありましたが、今後ご家族様は、常に電話で連絡がとれるようにしていただき、緊急的対応が必要な場合を除き陸路で病院へ駆けつけていただくこととしました。

6. 上空待機時間について

ドクターヘリは、支援隊（消防職員）がランデブーポイントと呼ばれる場外臨時離発着場の安全を確保したうえで現場に着陸することとしています。しかしながら支援隊よりも先にドクターヘリがランデブーポイント上空に到着することもあり、その際は上空待機を余儀なくされることもしばしばありました。しかし上空にいる時間が長くなれば、不慮の事故に巻き込まれる確率も上がりますので、極力上空待機の時間をなくす方向で関係機関と協議することとしました。

7. 要請基準・運航要領の見直しについて

ドクターヘリ要請には基準を設けていますが、最終的には要請側の判断にゆだねられています。ひとたび要請があれば、悪天候や夜間など物理的に運航が不可能な場合を除き全例に応需しています。しかし約1割弱は、必ずしもドクターヘリが必要でない、“オーバートリアージ”であるのが実際のところですが、ドクターヘリが必要な患者様全員がドクターヘリの恩恵を受けられるようにするためには、この“オーバートリアージ”の容認は大切ですが、今後はどこまで“オーバートリアージ”を容認するかの方針について関係機関との協議が必要と考えています。

最後に

このように今回の事故を受けて、宮崎ドクターヘリでは安全対策のさらなる強化を図りつつ、微力ではありますがこれまでどおり県内救急医療への貢献を継続していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、不幸にも今回の事故でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

随 筆

私と音楽とのさまざまな出会い

都城市 都城新生病院 ^{うち}内 ^だ田 ^{つね}恒 ^{ひさ}久

音楽との出会いは今でも意外にしっかり思い出することができる。ざっと振り返ってみよう。

高一のある時期、「コンサートホール・ソサエティ」というクラシックレコードを廉価で販売してくれる通販の組織があった。どのような経緯でチャイコフスキーのピアノコンチェルト変ロ短調を選んだのか分からないが、ある日、このレコードが送られてきた。

レコードをプレーヤーにセットして針を下ろして音が出てきたときの感動は今でも残っている。

それから自然にクラシック音楽にはまっていったかというそうではない。団塊の世代の私は、同級生の仲間同様、ビートルズ、プレスリー、ビーチ・ボーイズ、ブレンダ・リー、ジョニー・ソマーズ、ポールとポーラ、シュプリームス、アニマルズ、ローリング・ストーンズ、レイ・チャールズ、スティーヴィー・ワンダー、ポール・アンカ、等々の洋楽を深夜放送やFEN放送でよく聴いていた。

高校生活にも慣れたころ、毎日のように昼の掃除時間は掃除をさぼり、友達の自転車を借りて天文館の十字屋楽器店通いを続けた。レコードを購入することはほとんどなかったが、若い女性の店員さんがよく相手をしてくれた。今で

も「今村さん」という名前を思い出することができる。

乏しい小遣いから、先ほどあげたポップスのレコードを買うのはなんだかもったいなくて、ちょっと背伸びしてフランク・シナトラのAll The Wayなどが入った4曲入りの小さいサイズのLPを購入した記憶がある。

話は大きく変わるが、地元の大学に入り、いつの間にかジャズを聴くようになり、大学のレコードサークルみたいところで、Benny Golsonのレコードに魅惑されたこともあった。

また、そのころ、中山さんというジャズの活動家がいって、当時まだ駆け出しの若手のジャズ・ミュージシャンを鹿児島に呼んで、喫茶店などでコンサートを開催しており、私も手伝いをするようになっていた。

例を挙げると、日野照正、日野元彦、笠井紀美子、本田竹曠、今田勝、菅野邦彦、峰康介、山下洋輔、ナベサダ、などを呼んでいた。

市内から近くに鴨池飛行場があり、手作りの歓迎の幟を持ってここまでよく迎えに行って記念写真を撮っていた。

国内組の一方で、ハंक・ジョーンズ、アー・ハインズらの海外の大物のコンサートも、

医師会館ホールなどで開催した。

これらの、ミュージシャン招聘活動と並行して、好きなレコードは手元に置いておきたくて、ジャズレコード収集も始まっていた。地元には「十字屋」と後から誕生した「ミュージック・プラザ」しかレコード店はなかったので、購入・収集には限界があったが、いつの間にか2,500枚は越えていた。

凝り性の私のジャズ熱は高まり、東京でのコンサートにもよく出かけた。今はなき東京厚生年金会館で開催されたキース・ジャレットのソロ・コンサート、ギル・エバンスのコンサートは印象に残っている。

もちろん、その他の都市でのコンサートにも出かけて行った。熊本ではデューク・エリントン、福岡ではケニー・バレル、マッコイ・タイナーなど、宮崎ではアン・バートンなどがすぐに浮かんでくる。出かけるたびに、東京や福岡ではレコードショップに足を運びレコード購入は続けていた。

年を経るにつれて仕事が忙しくなり、いつの間にかレコード購入はネットに代わり、音楽活動やコンサートへ出かける機会も少なくなった

が、家庭でレコードに耳を傾けることは日常だった。

娘たちもピアノを弾くようになり、ピアノ曲のCDを購入する機会も増えた。

クラシックといえば、早い時期に、フォーレの荘厳ミサ曲には魅せられた。次第に、交響曲、管弦楽、声楽、コンチェルト、室内楽など多様なジャンルのCDも増えていった。

私は基本的に音楽そのものが好きなんだろう。音楽をキャッチするアンテナは全方位型で、ラテン音楽、ジプシー音楽、カンツォーネ、シャンソンやアコーディオン、バンドネオン、ツート・シールマンズのハーモニカの音も大好きだ。

2年前大病を患い生死の境を浮遊し死期を意識するようになった。ぼつぼつ音楽にまつわる諸々の物との決別をしなければならない。

レコードを聴くオーディオ装置は最近売却したが、大量のレコードやCDを処分するために業者を呼んだことがあった。でも、二束三文のがらくた扱いだったので、この業者への売却は断った。身近な人に適価で買い取ってもらうのが私にとって最善の解決法に思えるのだが。

お知らせ

地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖など)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

随 筆

都城志布志道路全線開通によせて

やなぎ た き み こ
都城市 柳 田 喜美子

都城市は鹿児島県志布志とも古くから文化、経済の面で強い結びつきがあり、以前は国鉄志布志線により結ばれていたが、当路線が昭和62年廃線となってからは、九州縦貫自動車道宮崎線の都城ICと国際バルク戦略港湾の志布志港を結ぶ都城志布志道路の必要性がより強く訴えられるようになり、その早期全線開通は地域住民の積年の悲願であった。そこで鹿児島県を含む4市町の女性が結束し、さらなる整備促進に向けた取組みを強化するために、地域に密着した生活者である女性の視点に立ち「道づくりを考える都城広域女性の会」が平成26年に発足し畑違いではあるが、その会のお世話役をおおせつかることになった。平成6年計画路線として指定されてから32年経ち、女性の会活動開始後10年が経過した令和7年3月23日全線開通という集大成を迎えた（この間コロナ禍が3年あった）。

この道路の整備効果を深く考慮理解すること、その完成は当市の歴史で特筆されるべきものであること、など実際の現場に足を運び工事関係者から定期的に現地説明をも受けた。

国県市の行政の整備効果に対する理解と住民の願いに対する深い思いやり、毎年整備予算を配分いただいたこと、工事施工関係の方々への意欲と努力の賜物で完成したことに対してまず感謝の意を表したい。

そして昔の夢が私どもの世代に叶えられたことは、大きな喜びと感激である。

振り返ってみるとここに至るまで、広報、啓発、要望活動（女性の会単独要望活動には自費で行動、ピンクのハッピーを着て、衆参両議院会館・霞が関内を闊歩したこと）、特に将来に向けて活力ある安心安全の街づくりと、命の道としての機能強化を期待し、女性の生の声を届けたいという考えのもとに、広域的な支援のため行政とともに取り組んできたところである。その他の活動状況には、市担当部局をはじめとし

て、おびただしいものがあつた。

全長44kmの都城志布志道路（無料）は所要時間が70分から40分に短縮されさまざまな効果が期待されており、医療活動や連携強化に寄与している。

都城市を中心として曾於志布志等の周辺、市から二次救急施設である都城市郡医師会病院の外來患者数が整備にともない増加傾向にある。全線開通により広域ネットワークが形成され、都城広域定住圏における高次医療施設（宮崎医大などの三次救急施設）へのアクセス強化や医療連携の強化が期待され、救急患者の搬送時間の短縮や救命率が向上し、広域的にも地域医療に貢献できる。

また、「防災の道」として南海トラフ巨大地震や豪雨災害などの大規模災害に対し人的、物的支援を行うために太平洋沿岸地域、志布志港と後方拠点都市である都城市とをつなぐことが期待されている。

その他、経済的には主な効果として産業活性化に寄与、企業進出雇用促進の支援、交通渋滞緩和などがあげられている。

完成後の協力をさらにいただいて、今後の予定として、都城圏域をあげて取り組んでいるのが、①命のトンネルでつながる国道222号線の牛ノ峠バイパス、②曾於弥五郎地域の東九州自動車道と連携してその有用性をさらに高めていく曾於志布志道路、③都城ICと東九州自動車道を結ぶ都城末吉道路の早期事業化の要望であり建設促進大会が開かれているところである。

道路ネットワークの構築は多方面に寄与し、その効果は限りなく大きいと確信している。道路は交流圏が拡大し、地域を活性化させる地域創生を実現するため、着実に進める必要があるとあらためて思った次第である。この都城の大動脈とも言える道路は、後の世代に末永く歴史ある道路として引き継がれていくことであろう。

道づくりを考える広域女性の会 活動実績（平成26年度～令和6年度）

H26.4.30	設立総会	
H26.5.30	都城志布志道路整備・活用促進大会	参加（都城市）
H26.10月	署名成果報告	国土交通省・県
平成26～28年度 活動実績	現場視察研修（都城IC～志布志港）（2回） 国交省（9回），財務省（3回） 衆参議員会館（8回），自民党本部（1回） 九州地方整備局（3回），宮崎河川国道事務所（4回） 宮崎県庁（5回），都城土木事務所（5回） 鹿児島県庁（4回），鹿児島県大隅地域振興局（4回） H27都城志布志道路建設促進総決起大会 共催（志布志市） H28都城志布志道路建設促進総決起大会 共催（都城市）	
H29.5.20	都城志布志道路整備促進大会	共催（志布志市）
H29.11.16～17	単独要望活動	国交省，財務省，衆参議員会館
H30.2.3	開通式 出席	梅北IC～金御岳IC
H30.3.4	開通式 出席	有明北IC～伊崎田IC～有明東IC
H30.5.19	都城志布志道路整備・活用促進大会	共催（都城市）
H31.3.17	開通式 出席	横市IC～平塚IC
R1.5.26	都城志布志道路整備促進大会	共催（曾於市）
R1.11.20～21	単独要望活動	国交省，財務省，衆参議員会館
R3.2.27	開通式 出席	有明東IC～志布志IC
R3.3.28	開通式 出席	金御岳IC～末吉IC
R4.3.12	開通式 出席	乙房IC～横市IC
R4.11.26	都城末吉道路・曾於志布志道路建設促進合同総決起大会	出席（曾於市）
R5.5.13	都城志布志道路整備・活用促進大会	共催（都城市）
R5.7.21	国道222号牛ノ峠バイパス建設促進協議会設立総会	出席（都城市）
R5.10.14	国道222号牛ノ峠バイパス決起大会	共催（都城市）
R5.11.21～22	単独要望活動	国交省，衆参議員会館
R6.6.1	都城志布志道路・都城末吉道路・曾於志布志道路合同整備促進大会	共催（都城市）



随 筆

愛犬は飼い主の夢を見るか? (Rhapsody編)
- *Adieu! Changii (Part 1)*日南市 北村胃腸科眼科 ^{きた}北 ^{むら}村 ^{まさ}應 ^お旺 (和生)

今回は7月号で触れた愛犬の話。20年ほど昔、ぬいぐるみのようだった生後まだ3か月の彼女を、家族みんなで飛行場の手荷物受取へ迎えに出かけた。血統書付きのウェルシュ・コーギー・ペングロブで、先祖にはコンテストのチャンピオン犬が何頭もいた。幼いながらも顔は精悍で、首は真白な襟巻で囲まれ、尻尾はすでに切り取られていた。元々は牧畜犬。長い尻尾を牛に踏まれぬよう、キツネと間違われて撃たれぬよう、伝統的に生後切り落とされてきたのだ。雄ならその精悍な面構えと寸胴短足から“パチーノ”にしたかったが雌だったので、医療ドラマの主人公に因んで“チャンギー”と名付けた。ミルクを経て離乳食に代わるころから抜け毛が多くなり、とても室内では飼えなくなった。ちょうど3階リビングの真ん前の花壇の間に、おあつらえ向きの場所があり、そこに犬小屋を据え付けた。首輪は付けず、その区画を金網で仕切って飼うことにした。この間、子どもたちは、トイレの訓練を何度も試みたがうまくいかず、結局、身に付かなかった。美人で好奇心旺盛、じゃれつくのが大好きで、性格は頑固、オツムの方はお世辞にもいいとは言えず、食事の前の「お座り」「待て!」「よし!」だけはなんとか覚えた。



我家に来て間もないころのチャンギーと遊ぶ長男

そもそも、犬を飼いたいと言い出したのは次女。猛反対した私。そんなある日、次女が真っ白な子ウサギを抱いて帰ってきた。驚いたことに、妹もチョコレート色と白が混じった子ウサギを抱いている。手際のいいことに、その日のうちに妻がケージと食事セットを買って来た。掌に収まるほどの可愛さで、小学校のウサギ小屋で増えすぎたのを先生が譲ってくれたのだ。さっそく、それぞれ“ミルクィー”, “ショコラ”と名付けて飼い始めたが、可愛がるのは子どもたち、世話をするのは私。ウサギの世話は下替えが大変なのだ。コロコロした糞(兎糞)と濃厚な尿、そこに繊細な毛が混じるとウジ培養器と化し、掃除は苦行になる。暑い夏、子どもたちが血相変えて「パパ! ミルクィーを助けてー」と叩き起こされた。熱痙攣(Grand Mal)で昇天しかけたウサギを水風呂に首まで漬けると、

赤い目を白黒させて蘇生したっけ。秋も終わりを告げるころ、学校のウサギがテンかイタチに襲われ、全滅したとの報告が。これ幸いと、ウサギたちを学校に返すことを提案し、渋っていた子どもたちをなんとか説得した。ところが、しばらく経って「ミルキーとショコラが死んでしまった」…2人して泣きながら帰ってきた。小屋の隅に開いた穴から、くだんの小動物が入り込み、一晩で2匹をかみ殺してしまったのだ。なんという悲劇！子どもたちのショックは大きく、校庭の隅にお墓を作って埋めたという。



ミルキーを抱く次女とショコラを抱く三女

そんなことがあって犬を飼いたい願望が再燃したのだろう。ある日、次女がいつになく猫なで声で「ねえねえ、今度の塾の算数のテストで2回続けて9割とったら犬を飼ってもいい？」と聞いてきた。その塾のテストは難問だ。それを2回も続けて…フッフ、自分から不利な条件をつけるとは。私は一人ほくそ笑んだ。ところが…なんと、本当にその条件をクリアしたのだ。得意な分野の試験だったにせよ、約束は守らねばならぬ。喜び勇んだ次女はネットでブリーダーを探し、ついに愛犬をゲットしたというわけだ。しかし、猛勉強が実って、彼女は宮崎市内の中高一貫校に進学。恐れていたとお

り、犬の世話は私の仕事になった。朝夕の食事と糞の始末は続けたが、散歩は、出不精の私に代わって子どもたちが、時折、大喜びでやってくれた。散歩大好きなチャンギーには物足りなかったことだろう。それで、扉を開放して庭を自由にさせた。これが果実泥棒のトリどもが近づけなかった理由だ。犬はヒトより随分早く年を取る。美少女時代、素敵なレディーのころはアッという間に過ぎ去り、気づけばいつの間にか中年に差しかかっていた。扉を開けると転げるように短い足を動かして庭を飛び回っていたのが、次第に貫禄がつき、段差をよっころしょっと越えるようになっていた。



真のご主人様の次女に抱かれ、信頼の眼差しで彼女を見つめるチャンギー

(Requiem編に続く)

随 筆

火葬場のうらばなし

宮崎^{たに}市^{ぐち} 谷^じ 口^{ろう} 二 郎

誰もが最後にたどり着くのが火葬場。しかし、一昔前までは土葬だった。私が小さいころおばあちゃんの葬儀が営まれ、それに参列したことがある。谷口家の墓地がある土地に深さ2mぐらいの穴を掘り、そこに棺をロープでつるし何人かの遺族がそれをゆっくりと降ろしていく。安置されるとみんなで合掌して土を埋めていく。閉所恐怖症の私はその光景を見て卒倒しそうになった。

万が一生き返って「お〜い、ここから出してくれ〜」と叫んでもそれは周りの人に聞こえない。もちろん亡くなったとき、医師が慎重に死亡したことを確認するだろう。だから100%そんなことは起こらないはずだ。しかし、テレビのニュース番組で埋めようとしていたら中から「出してくれ!」という声に周りの人が気づき、助け出されたというニュースを見て、おばあちゃんの場合、本当に亡くなっていたんだろうかと疑問に思えてきた。しかし、それからしばらくして基本的に土葬から火葬になった。閉所恐怖症の私にとってそういうような心配をする必要はなくなった。

初めて火葬の席に参列し点火のボタンを押すのを見たとき、今度は中で「アチチ!」と叫んでいるのではないかと心配になった。どうやら私はかなりの心配性のようだ。でもまあ普通な

らそう思うのが当たり前だと思う。なんといっても愛する家族の体が目の前で焼かれていくのだから…。

今や少産多死の時代になってきた。現在生まれる命は年間70万人にも満たないのに、亡くなる人は153万人にもなる。15年後にその数は167万人と推定され、しばらくは160万人超のペースで増えていくという。

我々団塊の世代がいよいよ後期高齢者になった。昭和22年〜24年の3年間に生まれた世代で、その数800万人近くにもなる。その世代が次々と亡くなっていくのだから、しばらくは死亡者が減ることはない。

余談だが、このままのペースでいくと、日本の人口は毎年85万人ずつ減っていく。それはほぼ宮崎県の人口に匹敵する。なんとも恐ろしいことだ。

さて県内でもいろんな問題が起こってきている。その一つが火葬場が足りないことだ。火葬をしようにもすぐにはできない。特に亡くなる人の多い斎場には火葬ができず何日も待たされるというのだ。宮崎市では最長5日も待たされた遺族がいたそうである。ではその間どうするのか。それは自宅や葬祭場で火葬場の順番が来るまで待つしかない。そのままというわけにはいかないの、ドライアイスを毎日替えなくて

はならないという。大変な手間である。

県内でも亡くなった人が2019年には1万3,788人だったが、2024年は1万6,212人に増えた。これからもどんどん増えていくだろう。ところが宮崎市葬祭センターの火葬場は現在12基あるがすでに30年も経過し老朽化が進んでいる。だから一日に16件しか火葬ができないという。今の状況では今後の火葬に差しつかえるということで、今年度には更新工事が始まるという。

ところで宮崎市は火葬料金を来年度から25年ぶりに1.7倍にすることにした。その値段は1体あたり12歳未満は9,000円から1万3,000円へ、12歳以上は1万2,000円から2万円になるという。県内の平均価格は2万800円というからかなり安いということになる。そのためにわざわざ近隣地から宮崎市まで来て火葬する人もいるという。

今現在宮崎市葬祭センターにかかる年間運営経費は9,100万円くらい。そのうちの6割を使用料で賄い、残りの4割を市が負担している。それが使用料だけで可能になるようになるという。

さて私が最近知った火葬の件で一番驚いたのは、火葬後の灰を売却しているというのだ。火葬後必ず出る残骨灰は遺族が収骨後残った骨や灰、副葬品などが含まれる。そういうものは価値はほとんどないが、金冠などの金としての価値があるものも含まれている。そういうものを売却するというものである。確かにここ最近金が高騰している。そのため金を購入する人が増えている。だから以前よりかなり金相場が上がっている。そこに目をつけたというのである。ちなみに金の値段は1996年が1gあたり865円。今は17,530円（2025.8月21日時点）で50年前と比べるとなんと80倍値上がりしている。今の不安定な世界情勢からみてまだどんどん上がると予想されている。

そこで疑問が起こる。はたして残骨灰の所有権は誰にあるかということである。一般的に考えたら当然その家族にあるような気がするのであるが、実は所有権は自治体にあるのである。もちろん残された遺族が希望すれば残骨灰を持ち帰ることもできる。しかし持ち帰るのも大変だし置く場所もない。だからせいぜい遺骨の一部を骨壺に収めて持って帰るくらいである。

今までは残骨灰は粉々に砕かれ、慰霊塔などに保管されていたが、業者が残骨灰を預かり金などの有価物を抽出し、それを市町村に売却しているという。すべての市町村で行っているわけではないが、九州では福岡市、北九州市、長崎市、熊本市、大分市などで行っている。その収益は福岡市 約1億4,900万円、北九州市 約1億600万円、大分市 約3,600万円にもなるという。しかし多くの市町村では死者への尊厳や残された遺族への配慮から慎重な立場をとっている。

日本全国には354の火葬場がある。いずれ誰もが最終的にはその中の一つにお世話になることになる。その割には火葬場のことを知らなすぎる気がする。そして希望としては亡くなったら待たずにすぐに火葬してほしいものだ。

ちなみに50年前私の父が亡くなったとき、煙が立ち上るのを見て係員に「父の亡骸の煙が天に昇っていますね」と言ったら「あれは火葬している重油の煙ですよ」と一言。でも今でもあれは父の亡骸の煙だと信じている。火葬場ではやはり遺族のセンチメンタルな気持ちを理解してほしい。「そうですね。本当にあれはお父様の天に昇る煙ですね」と言ってほしかった。それが今でも残念である。

随 筆

むかばき

行 藤 山 登 山

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

令和5年4月島原市から宮崎県延岡市に引っ越した。宮崎県の山登りのために「宮崎県の山」(山と溪谷社)を買った。日本全国の山が県別に網羅されている。手始めとして延岡市の「行藤山」を選んだ。

令和6年5月11日(土)の午前10:30ごろ行藤神社の駐車場に到着。下山者にどれくらい掛かるかと尋ねたら、「約2時間掛かる」と教えてもらった。

神社の方に向かうと、大和武尊由来のパネルが目についた。「大和朝廷初期、日本武尊、熊襲征伐の折、この地の山の形が行藤(むかばき、毛皮製の乗馬用下身コート)に似ていると仰せられ、行藤山の名が付いたと伝えられている」(写真1)。行藤山を遠くから眺めると、中央に「行藤の滝」、右側に雌岳(809m)、左側に雄岳(829.9m)が聳えている。この様子が行藤に似ているようだ。別のパネルには行藤山の見どころや注意点が記載されていた。この先トイレはありません(念のため簡易トイレを持参した)。



写真1 行藤山の由来

神社の入り口には「さざれ石」が設置されていた(写真2)。砂利道を踏みしめながら、歩くと左側に池があり、鯉が泳いでいた。「心洗」が設置されていて、「手水の際は流水を手を受けてお清め願います」と書いてあった。右側には「銭洗い所」という変わった所があった。「お賽銭を神域の真清水でお清めしてお納め下さい。また、お清めしたお金は福銭としてお持ち下さい。お札は一部をお清め下さい」とあった。本殿で参拝し、夫婦杉も拝んだ。社務所では鯉のエサ、御神籤、お守りや絵馬が無人販売されていた。



写真2 行藤神社のさざれ石

少し戻って行藤山登山口を目指した。黄色い紐が左右に張られていて、進むべき方向を示していた。

注意深く周囲を観察しながら、歩くと「二酸化炭素の吸収量」のパネルを見つけた。それによると、スギ人工林は50年間で1ヘクタール(ha)あたり170トン、ブナ自然林は約90トン貯蔵できるそうだ。

山頂まで3.06キロ地点で「第1の沢」という小川を見つけた。その後注意していたが、第2・3の沢は発見できなかった。その後木の橋を渡り、歩き続けた。

3合目：山頂まであと2,750mの表示板あり。少し進むと、「滝見橋」が見つかった。ここからは、行藤の滝を眺めると遠すぎて滝の凄さがピンと来なかった。左側に雄岳の絶壁がそそり立っていたので、あそこまで登るぞと、勇気が出てきた。

4合目：山頂まで2,350mとあり、峠まで岩だらけの道を登り続けた。200mくらい進むと、山頂まであと2,130m地点に出た。左折：滝まで5分、右折山頂の看板が出ていた。迷わず、滝を目指した（落差77m、幅30m）。落差があって見上げると首が痛くなった。水量が多くて圧倒された（写真3）。反対に水量が少ないときには滝の真下まで近づけるそうだ。



写真3 行藤の滝

5合目：山頂まで2,100m。地上から山頂までは約4,200mと判明した。平地だと時速4kmは楽だが、山道は時速2kmでも御の字だ。

5合目と6合目の間：右側に雌岳の分岐があった。時間的余裕がなかったので、今回は直進した。岩だらけの山道が多かった。蛙石などで有名な佐賀県佐賀市の「巨石パーク」を思い出した。自然の木の根や岩が階段状になっていて歩きやすい所があった。また、難所にはロープやチェーンが張ってあって心強かった。

6合目：山頂まで1,800m。少し進み、右折すると県民の森（約10分）、左折すると頂上まで約1時間。その後、7合目：山頂まであと1,200mの表示を見落とした。8合目の目印は

発見できなかった。どのようなペースで歩いているのか不明だった。9合目近くで下山者とすれ違ったときに、「頂上まで15分くらい」と教えてもらったら、元気が湧き出てきた。

9合目：山頂まであと350m。ここからはさらに急斜面だった。岩の汗：あと100m。岩の汗とはなんのことだろうかと思になった。後で調べてみたが不明だ。知っている人がいたら、教えてください。

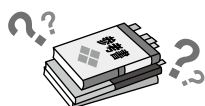
約2時間30分くらいでやっと雄岳頂上に着いた。行藤山雄岳の標高の表示板があった。頂上からは全周囲（360度）が見渡せた。条件がよければ四国の足摺岬を見渡せるそうだ。ちょうど先着の登山者がいたので、写真撮影をしてもらった（写真4）。



写真4 行藤雄岳山頂

そこで出会った門川町からの男性に「パッケン岩」「えびの高原の韓国岳」「大崩山」について教えてもらったので、『次回登山の参考にしたい』と思った。

振り返ると、登山時にすれ違ったのは延べ27人だった。3人グループ4組、2人グループ5組で、男性単独は何人かいたが、女性単独はゼロだった。下山時には4人とすれ違った。ゆっくり歩いたが、追い越されたのは1人だけだった。登山開始時刻が遅めだったからだろうか？今度からはもう少し早めの登山開始を目指したい。下山に掛かる時間は約2時間だった。



あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は74ページ)

1. 朝の家庭血圧を測定する条件で適切でないのはどれか。
 - a 朝食前
 - b 排尿前
 - c 服薬前
 - d 座位安静後
 - e 起床後1時間以内
2. 潰瘍性大腸炎に特徴的な所見はどれか。
 - a 敷石像
 - b 縦走潰瘍
 - c 全層性炎症
 - d 難治性痔瘻
 - e 連続性病変
3. 薬剤と尿細管作用部位の組合せで正しいのはどれか。
 - a SGLT2阻害薬 ————— 近位尿細管
 - b 抗アルドステロン薬 ————— Henleの上行脚
 - c サイアザイド系利尿薬 ————— 集合管
 - d バソプレシンV2受容体拮抗薬 — 遠位尿細管
 - e ループ利尿薬 ————— Henleの下行脚
4. 10歳の女子。感冒時に行われた血液検査で肝障害を指摘され紹介受診した。自覚症状はない。身長137cm, 体重36kg。体温36.8℃。脈拍76/分, 整。血圧104/70mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。頸部リンパ節を触知しない。腹部は平坦, 軟で, 右肋骨弓下に肝を1cm 触知する。脾は触知しない。尿所見: 蛋白(—), 糖(—), 潜血(—)。尿中Cu排泄量200 μg/日 (基準80未満)。血液所見: 赤血球409万, Hb12.1g/dL, 白血球8,100, 血小板33万。血液生化学所見: AST156U/L, ALT245U/L, LD308U/L (基準145~270), Cu25 μg/dL (基準68~128), セルロプラスミン12mg/dL (基準21~37)。免疫血清学所見: CRP0.1mg/dL, HBs抗原陰性, HCV抗体陰性, 抗EBV VCA IgM抗体陰性, 抗EBV VCA IgG抗体陰性。

この疾患でみられる所見はどれか。

 - a 円錐角膜
 - b 視神経萎縮
 - c 水晶体混濁
 - d Kayser-Fleischer輪
 - e 桜実紅斑 (cherry red spot)
5. 在宅医療で正しいのはどれか。
 - a 緩和ケアは在宅医療の中で実施できる。
 - b 緊急時に行う在宅医療は訪問診療と呼ばれる。
 - c 使用した注射針は一般廃棄物として処理する。
 - d 我が国では病院よりも在宅で死亡するケースが多い。
 - e 訪問看護を利用する場合は介護保険よりも医療保険が優先される。
6. 我が国の医療保険制度で正しいのはどれか。
 - a 外国籍でも加入できる。
 - b 財源は保険料より公費が多い。
 - c 療養の給付は現金給付である。
 - d 予防接種は保険給付の対象である。
 - e 保険医療機関は調剤を行う院外薬局を指定する。
7. 我が国で心臓死の後に移植で提供できる臓器はどれか。
 - a 肺
 - b 角膜
 - c 肝臓
 - d 小腸
 - e 心臓
8. 52歳の男性。疲れやすく, 仕事に頭が回らないことを主訴に妻とともに来院した。5年前から, 週に数回, 就寝後約2時間すると大声をあげるようになり, 起き上がって家具を倒すこともあった。3年前から疲れやすくなり, 気分が憂うつになった。2年前から仕事に頭が回らず, 集中できなくなり, 職場の上司から仕事のミスを指摘されるようになった。1年前から右手の震えに妻が気付いていた。日中に行動異常はない。薬は服用していない。身長163cm, 体重56kg。Mini-Mental State Examination (MMSE) は29点 (30点満点)。嗅覚が低下している。表情は乏しく, 小聲で, 前傾姿勢が強い。右上肢に静止時振戦と筋強剛を認める。血液所見, 血液生化学所見, 脳波検査および頭部単純MRI に異常を認めない。

この患者にみられるのはどれか。

 - a チック
 - b 常同行動
 - c 舞踏運動
 - d 複雑部分発作
 - e レム (REM) 睡眠行動障害
9. 喫煙と関連が乏しいのはどれか。
 - a 歯周病
 - b 大動脈瘤
 - c 1型糖尿病
 - d 冠動脈疾患
 - e 慢性閉塞性肺疾患
10. アニオンギャップが開大する病態はどれか。

3つ選べ。

 - a 下痢
 - b 糖尿病ケトアシドーシス
 - c 乳酸アシドーシス
 - d 尿細管性アシドーシス
 - e 尿毒症

エコー・リレー

(601回)

(南から北へ北から南へ)

医療環境に思うこと

日向市 稲原眼科医院 いな はら めい し 稲 原 明 肆

息子の院長からの指名で
久しぶりにエコー・リレー
が回ってきました。

内容としては息子と被る
内容ですが、私が医療を始
めたころに比べると環境が

大きく変わったと思います。息子たちの代と
比べても変化の割合は間違いなく大きいと思
います。息子たち、孫たちの代はデジタル機
器を導入することに抵抗はないようです。外
来診察室はほぼ息子と同じ機材を使ってい
るものの、私はなかなか慣れずに使い方は全
く異なります。私が使うのは電子カルテの所
見をペンで書き込むためのスタイラスペンと
モニターで患者さんに説明するときの指示棒
だけです。

その他はすべて周りのスタッフにやっても
らっています。私はそれを「音声対応」と呼
んでいます。息子にもこの完全なるシステム
を導入するように勧めていますが、ここは親
子の関係のせいかなかなか言うことを聞か
ず、頑張っパソコンをいじっています。

どうもよく考えてみますと息子は小学校卒
業と同時に日向の親元を離れて、中学・高
校・大学と過ごし眼科医になっても他県で過
ごしていました。私が72歳のときに勤務医を
辞めて日向に帰ってきて跡を継いでくれまし
た。親子で過ごす久しぶりの時間です。

よく考えてみたら現在が反抗期!!

[次回は、宮崎市の石合 理崇先生をお願いします]

目 標

三股町 一心外科医院 こ まき ふみ お 小 牧 文 雄

高齢者の生活にはキョウ
イクとキョウヨウが肝要と
される。野末陳平氏の言葉
であるらしい。今日行く処
と今日の用事ということら
しい。高齢者の複数の病院
通いは問題にもなるが、現

実はキョウイクとキョウヨウに貢献している
のかもしれない。

そんなある日、新聞の隅に「ミスター富士
山」実川欣伸氏(80歳)の富士山登頂2,230回
の記事が目にとまった。最初はそんなことがで
きるのかと思った。富士山の開山期間は7月上
旬から9月上旬の年間60日ぐら이다からであ
る。以前は登山口のゲートも固くなく、登頂ま
で3時間、下山に1時間半という抜群の健脚
あつての偉業かもしれない。初登頂が42歳で、
その後コツコツ38年間で2,230回! 1日4回登
頂や、75日間連続1日2回登頂にも驚く。そん
なことを反芻しているうちに、一般的に男性は
用事や行く処が毎日あるわけではないから、長
期間にわたる数的目標があればもっといいの
ではないかと思う。私は60歳代になってから始め
た100回登山を70歳のときに無事に終えて、現
在満75歳で、ようやく182回登山にまで伸ばし
てきた。自分の名前にちなんで230回登山を目
標にしている。実川さんとはけた違いの少ない
数字であるが、私の場合、日曜祝日限定で、ゴ
ルフや当番医、所用、さらに雨天や登山後の疲
れも考慮すると、年間10~15回ぐらしか登
れない。病気や怪我がなくともこのペースでは
残る48回登山達成には5年のはかりそうであ
る。日本人男性の平均寿命は81歳だから、達成
はギリギリになるかもしれない。

[次回は、高鍋町の崎濱 國治先生をお願いします]

メディアの目

ガザのポリオ停戦

西日本新聞 宮崎支局長

こう や ゆ き こ
神 屋 由紀子

街は瓦礫の山となり、食料に群がる人々がイスラエル軍の容赦ない銃撃で命を落とす。阿鼻叫喚の地獄と化した中東ガザのニュース映像を見るたびに、無力感に打ちひしがれる。そんな絶望的な状況でもかすかな希望の光をたぐり寄せようともがく人たちがいる。

昨年9月、ガザで国連主導によるポリオの予防接種が実施された。戦時下に子どもの感染症を防ぐ目的で、その間、イスラエル軍は空爆を控えた。つかの間の「停戦」である。

現地で指揮した国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）保健局長の清田明宏^{せいた}医師に取材すると、意外な言葉が返ってきた。

「来てくれるのか心配だったけれど、杞憂に終わり長蛇の列でした。予防接種の時間は日本の正月のようで心の落ち着きが生まれていた」

2023年10月の開戦以来、初めて家族みんなで外に出ることができ、子どもたちは着飾り、笑顔だったという。清田さんはこう述べた。

「予防接種はささやかな抵抗。とにかくできることをやって少しでも状況の悪化を防ぎたい」

清田さんはヨルダンの首都アンマンを拠点に活動している。話はオンライン取材か、宮崎市に帰省された折にうかがってきた。いつも心に残るのは、明日死ぬかもしれない過酷な境遇で生き抜こうとする人々の姿であり、清田さんの冷静でいて温かいまなざしである。

ご本人から直に読者へ伝えてもらおうと、西日本新聞で4月から寄稿連載「ガザの風」を始めた。先月の原稿には2年前、ガザの中学生が広島を訪れたときの逸話が紹介されていた。

5歳で戦争を経験した彼は平和記念資料館を訪れ、「酷い破壊の写真なのに、それを見て驚かない自分に驚いた」と語る。翌日、今回の戦争が始まり、少年はガザに戻れないままアンマンで家族と会える日を待ち続けているという。

ガザの死者は6万人超。数字を聞いただけで分かった気になっていないか、瓦礫の山の風景をどこか遠景に追いやって目をそらしていないか。戦後80年の報道を見ながら省みる。

広島を訪れた少年はこうも語ったという。

「あの凄まじい破壊の後、広島は完全に復興した。ガザもそうなってほしい」

戦争という不条理を凝視しながら抱く切なる願いである。こうした一人ひとりの声に耳を澄ませたい。



ポリオの予防接種を受けるガザの子どもたち
(清田明宏さん提供)

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第49回 患者に対する説明義務対策について

**Q.**

当院では外科的処置を行う際には、当院で使用している一般的な説明文書を患者さんに交付して署名を求めています。しかし、術後において患者さんから「そんな話は聞いていない」と言われるケースがあります。患者から説明義務違反と言われないためにはどのような点に注意すべきですか？

医療機関が患者に対して負う「説明義務」とは、抽象的な言葉であることから、何をどこまで説明すべきなのか悩まれる医師の方々も多くいらっしゃると思います。しかし、医療行為にともなう説明義務は、患者の自己決定権を保障する重要な責務であるとして、近年の医療訴訟でも厳格に問われる傾向にあります。そのため、ご質問のように、一般的な説明文書を交付・署名していても、それだけで常に説明義務として十分とは言えません。ポイントは、文書の存在よりも、「患者が内容を理解したうえで納得し、意思決定できたか」が法的に重視されます。

まず、説明は患者個々の背景（年齢、既往歴、合併症、服薬など）をふまえた「個性のある内容」である必要があります。例えば「術中に出血の可能性がある」と一律に伝えるだけでなく、「あなたの場合、抗凝固薬を服用しているため出血リスクがやや高くなる」といった説明が求められます。

次に、説明は「一方的に話しただけ」では足りず、患者の理解度を確認することが重要です。「ご理解いただけましたか？」という質問ではなく、「ご自身の言葉で説明内容を要約してもらう」「家族と一緒に確認してもらう」といった方法が有効です。

また、説明の記録も重要です。説明日時、対応者、使用した資料、質疑応答の内容などをカルテに記載しておくことで、訴訟時に有力な証拠となります。署名入りの説明文書に加え、補足メモや患者の反応に関する記録も可能な範囲で残すことをお勧めします。これによって「言った」「言わない」の論争を避けることができます。

したがって、「文書＋個別説明＋記録」の三位一体が、説明義務違反とされないための基本となります。少なくとも、「文書＋個別説明＋記録」の3つが揃えば、説明した事実が否定される可能性は低くできるため、日常の診療においてもぜひ意識をされてみるとよいと思います。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～7月～

令和7年6月30日～令和7年8月3日（第27週～第31週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核19例（男性10例・女性9例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症7例：宮崎市（6例），高鍋（1例）保健所管内から報告があった。患者が4例，無症状病原体保有者が3例であった。年齢は0～4歳が4例，20歳代が2例，10歳代が1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。

4類：○デング熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，性別は男性であった。病型はデング熱であった。主な症状として2日以上続く発熱，骨関節痛，発疹がみられた。アメリカ，メキシコへの渡航歴があった。

○レジオネラ症2例：日南，高鍋保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と80歳代であった。性別は男性1例，女性1例で，病型はいずれも肺炎型であった。主な症状として発熱，呼吸困難，肺炎等がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，性別は女性であった。病型はEBウイルスで，主な症状として全身倦怠感，発熱，肝機能異常がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として褥瘡感染による骨髄炎がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例：宮崎市（3例），高鍋（1例）保健所管内から報告があった。年齢は80歳代が2例，50歳代と90歳代が各1例であった。主な症状としてショック，肝不全，腎不全，急性呼吸窮迫症候群，軟部組織炎，全身性紅斑性発疹，中枢神経症状等がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，病型はAIDSであった。AIDSの指標疾患はニューモシスティス肺炎で，主な症状として発熱，咳嗽がみられた。

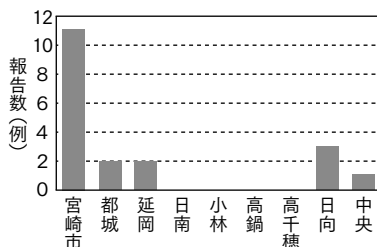


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	11
その他の結核 (結核性リンパ節炎)	1
無症状病原体保有者	7

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	2
40歳代	1
50歳代	3
60歳代	6
70歳代	2
80歳代	1
90歳代	4

表3 腸管出血性大腸菌感染症
原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O103(VT1)	3
O157(VT2)	2
O157(VT型不明)	1
O血清群不明(VT1)	1

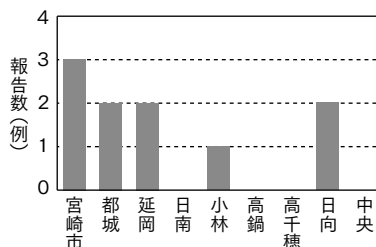


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	3
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	3

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	6
30歳代	1
40歳代	2

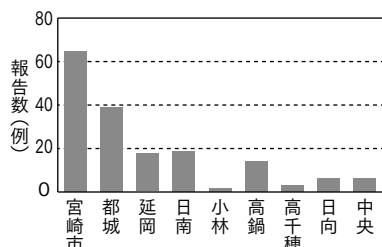


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	7
5～9歳	34
10歳代	101
20歳代	5
30歳代	3
40歳代	9
50歳代	2
70歳代	2
80歳代	2

- 侵襲性肺炎球菌感染症 1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、主な症状として発熱、菌血症がみられた。
- 水痘（入院例）：宮崎市保健所から報告（臨床診断例）があった。年齢は70歳代で、主な症状として発熱、発疹がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。
- 梅毒10例（男性5例・女性5例）：保健所別報告数は【図2】、病型別報告数は【表4】、年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹がみられた。
- 百日咳165例：保健所別報告数は【図3】、年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ、嘔吐、白血球数増多、肺炎等がみられた。ワクチン接種歴は有りが92例、不明が68例、無しが5例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は2,349人（定点あたり131.8）で、前月の184%，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の75%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は6,793人（定点あたり242.6）で、前月の135%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、伝染性紅斑、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は932人（33.3）で前月の約6.5倍であった。延岡（53.3）、高鍋（49.5）、日南（39.5）保健所からの報告が多く、20歳未満と60歳以上がそれぞれ全体の約3割ずつを占めた。

伝染性紅斑の報告数は169人（11.3）で前月の約1.5倍、例年の約4.6倍であった。中央（56.0）、宮崎市（16.6）、日向（7.0）保健所からの報告が多く、3歳から7歳が全体の約7割を占めた。

前月との比較

	2025年7月		2025年6月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	30	1.1	47	1.7	★
新型コロナウイルス※1	932	33.3	144	5.1	
RSウイルス感染症	33	2.2	7	0.5	
咽頭結膜熱	37	2.5	41	2.7	
溶レン菌咽頭炎※2	206	13.7	190	12.7	★
感染性胃腸炎	537	35.8	457	30.5	
水痘	21	1.4	25	1.7	
手足口病	18	1.2	7	0.5	
伝染性紅斑	169	11.3	111	7.4	★
突発性発しん	40	2.7	29	1.9	
ヘルパンギーナ	269	17.9	74	4.9	
流行性耳下腺炎	5	0.3	6	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	43	7.2	5	0.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	9	1.3	6	0.9	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	1	0.1	
急性呼吸器感染症	6,793	242.6	5,034	179.8	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体			検出数
インフルエンザ ウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			19
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザ ウイルス	1型		0
	2型		3
	3型		3
	4型		2
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			6
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			2
エンテロウイルス・アデノウイルス			1
RSウイルスA型・ライノウイルス			1
検出せず※2			31
受付検体数			68

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

	検出病原体	件
細菌	<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:1,2:i)	1
	<i>Salmonella</i> Typhimurium (variant) (O4:i:-)	1
	EHEC (O157 : HNM, VT1,2)	1
	<i>Enterobacter bugandensis</i> EBC型 (+)	1
	<i>Vibrio cholerae</i> non-O1, non-O139	1
	EHEC (O157:HUT,VT2)	1
	<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7:m,t:-)	1
	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	1
ウイルス	Human herpes virus 6	3
	Parvovirus B19	3
	Norovirus G II.4[P16]	1
	Adeno virus 2	1
	Influenza virus A H1pdm09	1
	Adeno virus 1	1
	Human herpes virus 7	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2025年 7 月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比117%と増加した。また、昨年 7 月（3.2）の約0.8倍であった。

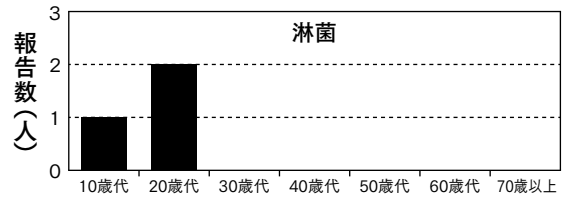
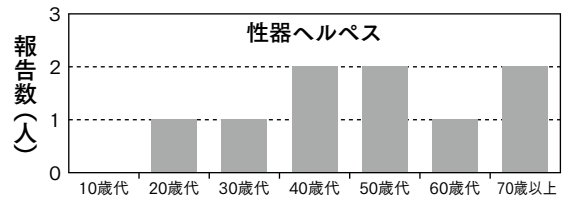
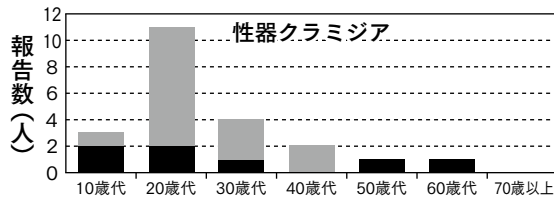
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数22人（1.7）で、前月の約1.6倍、昨年 7 月と同率であった。20歳代が全体の半数を占めた。（男性 7 人・女性15人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数 9 人（0.69）で、前月及び昨年 7 月の0.9倍であった。（女性 9 人）

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数 3 人（0.23）で、前月と同率、昨年 7 月の0.5倍であった。（男性 3 人）



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人（2.0）で、前月比127%と増加した。また、昨年 7 月（3.7）の約0.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数14人（2.0）で、前月の約1.3倍、昨年 7 月の約0.6倍であった。70歳以上が全体の約 7 割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【宮崎県赤十字血液センター】

赤十字血液センターより周知依頼がございましたので、ご案内申し上げます。詳細は以下をご確認ください。

7月30日より、細菌スクリーニングを導入した 新規血小板製剤の供給が開始されました

現行製剤からの主な変更点

- 血小板輸血による重篤な細菌感染症を防止するため
血小板製剤全品に**細菌スクリーニングを実施**
- 有効期間を採血後4日間から**採血後6日間**に変更
(洗浄血小板製剤は現行製剤と同じ)
- 製造販売する製品は6品目20製剤から**4品目10製剤**
に変更
〔未照射血小板製剤、1単位 2単位の小単位製剤については、
供給量の減少等の理由により製造販売はしません〕
- 血小板製剤の**外観確認方法が一部変更**
※凝集物がみられる製剤をお届けする場合があります

新規血小板製剤への凝集物等のQ&Aについて、以下のサイト
から確認いただけますのでご参照ください。



【医療機関の皆さまへ】

BS導入後の血小板製剤について

<https://www.jrc.or.jp/mr/hp>

- 医療機関における外観確認について
血小板製剤は、納品後速やかにご使用ください。なお、これまで同様に、製剤の
色調異常、スワーリングの有無を確認するとともに、輸血中、輸血後の患者さん
の観察をお願いします。
- お問い合わせ
最寄りの赤十字血液センターの医薬情報担当者にお問い合わせください。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

宮崎県赤十字血液センター
学術情報・供給課
0985-50-3100 (直通)

各都市医師会だより

西 白 杵 郡 医 師 会

中医協の「入院・外来医療等調査・評価分科会」で高齢者の入院医療に関する検討の際に、全国共通の診療報酬制度による評価に限界がきているとの見方を示し、「診療報酬制度もそろそろ地域性にどう対応するのかという検討を行う意見がある」という意見が出たそうである。地域によって異なる人口構成や今後の人口動態、医療、介護の資源が異なる状況に対応すべきだという考えからである。

以前にも同様の議論があった記憶がある。問題点を示すと以下のとおりである。

1. 同一の医療サービスを受けても住んでいる地域により、患者の負担額が異なる。
2. 診療報酬が高い地域においては、保険者負担も高くなる。
3. 現在、看護職員数の緩和措置について、地域の特性を考慮していないが、考慮するとどのようなことが起こるか？

一方、医療を取り巻く環境は、厳しさを増している。人口減少と高齢化が進む中、医療需要は変化し、限られた資源の中での運営を強いられている。さらに、医薬品や医療機器の価格上昇、光熱費、人件費の高騰は継続しており、診療報酬はこれらのコスト増に対応できていない。

当地のような地方の医療施設では、収益確保が困難であり、必要な設備投資や人材確保への対応も難しくなっている。私には、診療報酬に地域制を持ち込むのが正しいのか、正しくないのか判断しかねるが、現状の医療システムを抜本的に変えるような、改悪になる事態だけは避けていただきたい。

(植松 昌俊)

宮 崎 市 郡 医 師 会

令和7年6月25日、宮崎市郡医師会定時総会が開かれ、執行部から、令和6年度決算で病院収益が増加となったものの、給与人件費や材料費の増加などもあり、積立金の取り崩し運用となった報告がありました。運営改善策を提言され、出席会員により承認されました。7月20日の参議院選挙では、日本医師会の釜范副会長が見事上位当選を果たし、診療報酬の改善に弾みがついたかもしれません。開票結果後の7月例会では宮崎市郡医師会一丸となり、今後がんばっていこうという機運が高まりました。

(内野 竜二)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

去る7月20日、参議院選挙が行われました。宮崎県の投票率は前回より9.8ポイント上昇し、57.2%に達したそうです。SNSを通じて若い世代の関心が高まったことが、その一因と考えられています。これは、民主主義の健全さを示すよい兆しと言えるでしょう。一方で、SNSの情報に振り回されて一つの見方に偏ったり、誤った情報に踊らされたりすると、冷静な判断が難しくなってしまいます。私たちが心がけるべきなのは、情報を多角的に検証し、信頼できる事実に基づいて判断することです。今回の選挙の結果は、新しい時代の到来を示唆しているのかもしれません。

(池之上 貴)

延岡市医師会

7月の参議院選挙にて日本医師会副会長の釜范敏先生が当選されました。選挙にあたり手渡された連絡網に従い電話で担当先生方に投票の依頼を行いました。多忙な診療中にお電話にいただいた先生方にお礼申し上げます。気になったのは電話対応された職員に釜范先生の名前を知らない方がいることでした。医師会から代表者を出すために会員の団結力が問われる場面ですが、入会しない医師の増加、脱退する医師の存在もあり、足並みが揃っていない印象を受けます。組織力を高めるために医師会加入率が上がるように、会費の見直しや魅力ある組織作りが期待されるところです。

(平嶋 智之)

日向市東臼杵郡医師会

今年も5月から始まった学校心臓検診が、無事に終了しました。この検診は、子どもたちの健康を守るために毎年欠かさず行われている重要な取り組みです。日々元気に過ごしているように見える子どもたちでも、目に見えないリスクが隠れていることもあり、そのリスクを早期に発見し、適切な対応を行うために欠かせません。3次検診時には、たかぎ小児科・心臓小児科の高木純一先生に日向までお越しいただきました。これからも継続し、子どもたちの健やかな成長を支えていければと考えています。

(新名 克彦)

児湯医師会

年度明けて始まった学校検診の結果、要精密検査での受診も始まりました。心疾患、腎疾患の発見はもちろんですが、最近では2型糖尿病、脂肪肝、高尿酸血症など、生活習慣病の早期発見につながるケースも見られ、検診後、要精密児の確実な受診、フォローの大切さをあらためて感じているところです。当医師会においても、地域の子どもの健康を守るために、医療圏内の専門医療機関で協力しながら、引き続きこの学校保健事業に尽力していきたいと思えます。

(織田真悠子)

西都市西児湯医師会

今年度、近隣の病院に入職された2人のB会員の入会がありました。大変嬉しく思います。ありがとうございます。西都児湯医療センターの先生方には西都市、児湯郡を含む近隣の医療を守り続けていただき感謝申し上げます。いろいろな問題があり、医療センターの日当直の協力ができていませんでしたが、8月より各会員が個人的に協力することが決まりました。まだまだ十分な協力体制ではありませんが、ここを足掛かりに医療センターの先生方と会話をもち、当医療圏の問題を少しでも解決に近づけたと考えております。

(松本 英裕)

南那珂医師会

厚労省は7月に2040年頃を見据えた地域医療構想等に関する検討会を開いたが、そのころまでに現在地域医療を支えている医療機関がいくつ残っているだろうか？当地区には三つの公的医療機関があるが、いずれも経営状態は苦しい状況で、民間も苦しい運営を強いられていると思う。最近の当医師会の話題としては、7月の定例理事会に県医師会から河野会長、小牧副会長、荒木常任理事がお越しになり意見交換を行った。8月には医師会役員と会員の先生方との意見交換会も行われた。いろいろ知恵を出し合うことは大事なとあらためて思いました。

(中津留邦展)

西諸医師会

6月22日、新燃岳が約7年ぶり噴火しました。7月初旬である現在も噴火が確認されており、地域によっては降灰や硫黄のにおいが感じられる状況です。風向きによって影響の出る地域が変わるため、日々その動向が気になるところです。今のところ、人的被害を含め大きな被害の報告は入っていませんが、噴火が長期化すれば、健康被害や農作物への影響も懸念されます。なお、2011年の噴火の際は、2市1町と西諸医師会との間で、災害時における医療救護に関する協定を締結しております。今回の噴火が深刻な事態とならず、この協定を用いるような場面が訪れないことを願っております。

(寺谷 威)

国公立病院だより

宮崎大学医学部附属病院



かもとしゆき

賀本 敏行 病院長

宮崎大学医学部附属病院からは、約5年ぶりの「国公立病院だより」となります。今回は2020年9月、日州医事第853号に当時の鮫島浩病院長が寄稿されました。2020年は、1月末から世の中を混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振っていた時期であり、9月は「第1波」が収束しつつある時期でした。鮫島先生は、それまでの大学病院の対応を「記録に留める」とし、詳細に報告されています。当時、副病院長として執行部におりましたが、あらためて読み返しますと、当時の切迫した状況が目に浮かびます。その後、約3年3か月にわたり、ウイルスは幾度も変異を繰り返し、第8波を経て、2023年5月8日に日本でも新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類へ変更され、事実上の収束を迎えました。その後大学病院も徐々に平常運転へとシフトしてきましたが、この2年間にはさまざまな出来事がありました。それらをかいつまんでご紹介します。

医師の働き方改革が始まりました

2019年4月から大企業で始まった働き方改革でしたが、「宿日直は労働時間としない」や「自己研鑽」の定義など、これまで曖昧であったところも一定の整理がなされ、5年の準備期間を経て、2024年に医師にも適用されることになりました。

大学病院では、2018年に法案成立後、当時の鮫島病院長のもとで経営企画担当副病院長を拝命しておりました私が、働き方改革担当も命じられました。働き方改革で強調されたことの1つが「時間外労働規制」であったわけですが、一般企業が月30時間、年間360時間であるのに対し、医師は月80時間、年間960時間でしたので、これが「身体的過重労働を考えての改

革」でないことは自明でした。当時、「サービス残業」や「みなし時間外労働」などがブラック企業の問題となっており、確かな時間外労働には正当な対価を支払うべし、ということであると思われました。そこで、なんとか正確に時間外労働時間を把握することが必要と考え、当時電子カルテベンダーとなった富士通に提案し、「医師の勤務時間把握ソフト」を開発しました。

医師の働き方改革のもう一つの柱が、タスクシフト・シェアで、本院では大学病院などの特定機能病院でも2016年から「医師事務作業補助者」に対する加算が取れるようになっておりましたので、すでに15対1を取得しており、年々補助する医師の事務作業を拡大していきました。また薬剤部も大きく刷新され、池田龍二教授のもとで50名を超える薬剤師がさまざまな業務をシェアしていただいております。また、2023年からは特定行為看護師養成コースを開始し、年に数名が修了し確実に増え、臨床現場で活躍してもらっています。

現在は時間外労働がBあるいは連携B水準の医師が10数名おられますが、数年後には全員A水準にできるよう、これからも着実にすすめる所存です。

表. 時間外労働の上限規制

指定の種類	年の上限時間
A水準	960時間
連携B水準	通算1,860時間 (各院では960時間)
B水準	1,860時間
C-1水準	1,860時間
C-2水準	1,860時間

A水準 … 原則、すべての施設

連携B水準 … 地域医療確保のために医師派遣を行う施設

B水準 … 高次救急医療施設やがん拠点施設など

C-1水準 … 臨床研修医、専門研修医の雇用施設

C-2水準 … 特定高度技能研修者の雇用施設

病床数を減床しました

2020年にコロナ禍が始まったとき、コロナ患者受け入れのために1東病棟28床をコロナ病棟として運用しました。その間、1東病棟を使用していた、放射線科、歯科口腔外科を他病棟に整備していただき、収束後は1東病棟に3階の手術室に隣接する血液浄化部を移動し、手術室を増室する計画でありました。2023年5

月の新型コロナ収束後、全国的にも、また本院でも病床稼働率はコロナ前に戻ることがありませんでしたので、2024年4月から病床数を632床から604床に減床しました。しかしながら、2024年度の年間の病床稼働率は85%に達せず、また在院日数はさらに減っていることから、かねてからの計画どおり、2025年4月から手術室の増室のための工事を開始しております。2025年9月に血液浄化部の移動を完了し、2026年10月から新たな手術室2室の稼働を予定しております。

高度救命救急センターの指定を受けました

2015年からドクターヘリを運用する救命救急センターがスタートしましたが、2025年7月1日に宮崎県から「高度救命救急センター」の指定を受けました。この10年間、救命救急センターは主に3次救急機関として、数多くの重症患者を受け入れており、ほぼ同じことをしておりました。ただ、コロナ禍において最後の砦として多くの重症者を受け入れたことなどの実績を評価されたこと、これから救命救急センターを改修し、高圧酸素療法も導入することなども決定しており、これからのさらなる期待の表れと受け止めております。2026年の手術室増室完了後、速やかに開始する計画です。



大学病院のブランディング

2024年に開学50周年を迎えたとはいえ、初めて大学病院を受診される患者さんにはどこか「不安」があるような感じがしておりました。より患者さんに寄せて、大学病院のことをもっと身近に知っていただくために、本年4月からは「宮崎大学ラジオ」を始めました。毎週金曜日の「Bunnyのナツウタ」内で、13時ごろからバニーさんとの掛け合いで放送されています。Radikoやアーカイブは以下のリンクからお聴きいただけます。

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/myaoh-radio/>

この「国公立病院だより」はほぼ5年に1回とのことで、5年後にどのように展開されているか、そのときの病院長からの報告を楽しみにお待ちしております。

キャリア形成プログラムに対する準備

2018年に「医療法」が改正され、医師不足地域に派遣される医師の能力開発・向上の機会の確保と当該地域における医師確保の両立を目的として「宮崎県キャリア形成プログラム」が策定されました。これらを背景に、宮崎大学医学部の地域枠学校推薦型選抜定員が40名に拡充され、近い将来、卒後9年間の同プログラム対象期間に在籍する適用者は360名に達します。しかしながら、プログラム適用医師の勤務先に関しては、情報を共有し相談するプラットフォームが存在しません。そこでこのたび、宮崎大学ならびに宮崎大学医学部附属病院の連携病院長/理事長会議を設立し、緊密な情報交換のもと、臨床実習から臨床研修、専門研修、その後の診療に至る卒前・卒後一貫性のある医師養成と診療連携の充実を目指すこととしました。また、2004年から始まった新臨床研修プログラムでの大学病院の研修医の給与アップが行われていませんでしたが、2025年10月からの昇給を実施することとしました。これらの効果が今後宮崎県の医療にどのような形で現れるか、注視していきたいと思います。

大学病院は年々改革が進んでおります。この「たより」でまだまだご紹介すべきこともあったかと思いますが、今蒔いた種が、どのように結実したかを5年後の「たより」でご確認していただくと確信しております。

医療を取り巻く環境は今後も厳しいことが予想されています。今後とも宮崎大学医学部附属病院を何卒よろしく願いいたします。



宮崎大学医学部だより

医療安全管理部



あやべ たかのり
綾部 貴典 教授

国立大学医学部附属病院は宮崎県内唯一の特定機能病院であり、その医療安全管理体制について紹介します。今回は「医療安全管理部」の成り立ちや歩みを紹介しました。その後の人事動向は、兼任医師ゼネラルリスクマネージャー

(GRM)が医師4名(病棟医長)、6か月ごとのローテーションで配属されましたが、中堅医師の医療安全管理の教育・研修・経験となるように、R4年10月からは外来医長の医師4名も加わり、医療安全管理部の兼任医師GRMは8名となりました。

R6年4月から、中尾直子看護師長が看護師GRMとして、医療安全管理部副部長となり、R7年4月から、奥村学薬剤師GRM(医療安全管理部副部長、助教、病院准教授)が医療安全管理部の講師に昇任しました。看護部からは、R4年4月から小田浩美副看護部長、R5年4月から柚木崎智子副看護部長、R6年4月から川崎朋子副看護部長、R7年4月から児玉裕子副看護部長が、医療安全管理部副部長として配属されました。R6年10月からは、海北幸一教授が医療安全管理責任者(副病院長)に任命されました。

大学医学部附属病院の医療安全管理部は、医学部の講座ではなく中央診療部門の位置付けではありますが、病院組織としての医療安全管理体制を統括する役割があります。

強化ポイントは、1)医療安全管理責任者の配置、2)専従の医師と薬剤師の配置、3)診療内容のモニタリングなど、4)全死亡例報告など、5)内部通報窓口の設置、6)医薬品完全管理の強化、7)管理者の医療安全管理経験、8)マネジメント層向け研修受講、9)監査委員会による外部監査、10)相互のピアレ

ビュー、11)インフォームド・コンセントの実施、12)診療録などの管理、13)高難度新規医療技術の管理、14)未承認薬などの管理、15)職員研修の必須項目の追加など、になります。

医療安全管理部は上記の運用に係り、統括・支援した活動を中心に行っています。基本となる日常業務は、日々のインシデント報告の分析・対応、医療事故の原因究明、再発防止に向けた対策立案、医療安全に資する質改善の教育実践活動、院内の統一ルールやマニュアルの作成や見直し、医療安全管理委員会やリスクマネージャー会議の運営など、医療安全推進活動をしています。病院機能評価「一般病院3, 3rdG:Ver.3.0」の受審においては、項目内容の半分以上は医療安全に関することで占められております。2025年度は特定機能病院の承認要件の見直しが検討中であり、「医療安全に関する基準」が大幅に強化される予定です。特に重大な医療事故への対応体制の厳格化が中心となります。現在、医師の働き方改革が進行中で、医療の質や安全性の低下を防ぎながら両軸を維持し向上していくことが重要であり、重要な課題と認識しています。

「明るくて、楽しくて、面白い」医療安全推進活動になるように、地味ではありますが、継続的改善活動を続けてまいりたいと思います。

次回は、医療安全管理の活動内容、臨床、研究、教育の取り組み、医療の質の向上と活動状況と展望について紹介できればと思います。ご期待ください。



毎月一度の病院長を含む
医療安全院内ラウンドのメンバー
(医療安全管理部(医師、薬剤師、
看護師、事務の多職種構成))

部会だより

園医部会



たかやま しゅうじ

高山 修二 部会長

宮崎県医師会園医部会は、保育園（所）・幼稚園等の乳幼児保健衛生の向上発展並びに当該園全職種との連携・研修および相互の協力を図ることを目的に、平成11年に発足し、会員は現在

137名（6月現在）の保育園・幼稚園の園医で構成されています。

園医部会は毎年6月に理事会を開催し、前年度の事業報告・歳入歳出決算、当年度の歳入歳出予算案を承認していただいています。また、9月の総会では研修としてお二人の講師を招聘し特別講演を行っています。コロナ禍を契機に土曜午後医師会館での現地開催から平日夜医師会館とWebでのハイブリッド開催に変更になり現在に至っています。

令和6年度園医部会総会・研修会は令和6年9月19日に80名の参加で行われました。特別講演Ⅰは県立宮崎病院小児科内村絵美先生に「気になる子をみつけたら－虐待を疑う子への対応について－」と題して講演。＊虐待は「疑い」の時点で通告する義務があり、虐待≠裏切りではなく、子ども自身・困っている家庭への支援の入り口だということ。年々増加している小児虐待に対応する際には、子どもにとっての最善を（Child First）。特別講演Ⅱは久留米大学医学部小児科学講座の後藤憲志先生に「Post COVID-19における感染対策」と題して講演。＊梅毒は女性では10～20代に多く、小児科でも遭遇する可能性がある。＊園などの施設では床より机の消毒が大事なことで、アルコールによる手指衛生では、2～3 ml/回（ポンプ

では最後まで押し込む量）が必要なことで、まんべんなく塗り込んで完全に乾かすこと。＊マスクは不織布で十分。ポリウレタン製はほとんど意味がないこと。＊ロタウイルス感染症の基本（実効）再生産指数（一人の感染者が何人に感染させるかを表す数字）は感染力の強いと言われる麻しんが16～21なのに対しロタは28～191とかなり強力。ロタワクチンの入院および救急外来受診抑制効果は7歳まで確認されており、有効性は高い。＊インフルエンザワクチンは有効で、インフルエンザによる死亡の多くはワクチン未接種児。この研究結果を受け、米国小児科学会は「生後6か月以上の全ての小児に毎年インフルエンザの予防接種を推奨している現行の勧告を支持するもの」としている。＊妊婦へのインフルエンザワクチン接種は、強く推奨され、接種により、生後6か月までの乳児インフルエンザを予防する。というような点が印象に残りました。

今年は9月29日に総会・研修会が開催予定です。園に関わる全職種の方々、園医の先生方に喜ばれる研修会を開催する予定ですので、ぜひご参加ください。今後とも園医部会をよろしく願いいたします。

☆沖美和副部会長退任にともなう後任については、今年度の理事会で、理事の互選により此元隆雄先生に決まりました（正式には9月の総会にて承認）。沖美和先生長いことご尽力いただきありがとうございます。此元先生よろしく願いいたします。

－ 各種委員会 －

健康スポーツ医学委員会

と き 令和7年7月9日(水)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

大塚常任理事の司会により開会され、続いて帖佐委員長よりご挨拶があった。その後、帖佐委員長の進行により議事に入った。

報 告

1) 令和6年度健康スポーツ医学セミナーについて

令和7年1月16日に講演2題で開催した。令和9年度開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を見据えて、鹿児島国体と障がい者スポーツに関する内容とした。出席者は35名で、現地9名、Web26名であった。

2) 令和6年度県民健康セミナーについて

令和7年2月16日に「健康寿命、日本一を目指そう！」をテーマに、講演3題で開催した。出席者は98名で、現地79名、Web19名であった。

協 議

1) 令和7年度健康スポーツ医学セミナーについて

テーマや講師などについて各委員から意見が出され、検討を行った結果、令和9年度開催の「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」をテーマに、2題の講演を行うことが決定した。講師には、昨年の佐賀県大会の医師会関係者と行政の方をお招きする。開催日程は、令和7年10月から11月の間に実施することが承認された。

2) 令和7年度県民健康セミナーについて

講演3題で開催し、そのうち本委員会が



提案する1題は、「スポーツ栄養学」または「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023（健康日本21（第三次））」のいずれかに決定する。7月18日の健康教育委員会において、他の演題とのバランスを考慮したうえで選定することとした。また、令和7年11月に開催することが承認された。

3) 宮崎県スポーツドクター連盟について

令和6年度の歳入歳出決算、令和7年度事業計画・予算について協議し承認された。

4) 諮問事項「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会への対応について」

大会に向けて、スポーツ医の増員が必要とされており、認定スポーツ医の研修会の開催案内や、スポーツ医学セミナーの実施を通じて、啓発や支援を行っていくことが協議された。

出席者

県医師会館－帖佐委員長、松村副委員長、

宮永・柳田・比嘉・山崎委員

Web (Zoom)－甲斐委員

県医－小牧副会長、大塚常任理事、

河原・落合理事、久永次長、松崎主事

－ 各種委員会 －

健康教育委員会

と き 令和7年7月18日(金)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

吉田常任理事の司会により開会され、続いて小牧副会長より挨拶があった。その後、中山委員長の進行により議事に入った。

報 告

1) 令和6年度県民健康セミナーについて

令和7年2月16日に「健康寿命、日本一を目指そう!」をテーマに、講演3題で開催した。出席者は98名で、現地79名、Web19名であった。

2) 健康教育事業について

本会、各郡市医師会、各専門分科医会が行った健康教育事業について報告を行った。令和6年度の実績は、各郡市医師会が51件、各専門分科医会が82件であった。本会は、宮日生活情報紙「きゅんと」や宮日ホームマガジン「rapia (ラピア)」、宮崎日日新聞生活情報面「教えてドクター」などを通して県民の健康保持増進や疾病に対する正しい知識の啓発に取り組んだ。

3) 健康教育事業費補助事業について

平成26年度から開始した同補助事業について説明があった。各郡市医師会、各専門分科医会およびこれらに準ずる県内の医師で構成する団体が健康教育事業を実施した際、経費を補助することで県民の健康の保持増進に寄与することを目的としている。今年度もこの事業を行うことを説明し、開催を検討していただくよう依頼した。



協 議

1) 令和7年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

講演3題で開催し、そのうち本委員会が提案する2題は「肥満」「骨の健康」に決定した。健康スポーツ医学委員会が提案する1題については2案が示されていたが、本委員会の演題とのバランスを考慮し、「スポーツ栄養学」とすることが本委員会において決定された。また、令和7年11月に開催することが承認された。

2) 諮問事項「県民への効果的な健康教育の方法について」

意見交換を行った。

出席者

県医師会館－中山委員長、松本副委員長、
宮尾・中津留・福井・
帖佐(宣)・河野委員

Web (Zoom)－甲斐委員

県医－小牧副会長、吉田常任理事、
久永次長、松崎主事

九州医師会連合会第422回常任委員会

と き 令和7年7月5日(土)

ところ 大名カンファレンス（福岡市）

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会会長（熊本県福田会長）

2) 開催県医師会長（福岡県蓮澤会長）

3 報 告

1) 令和7年度九州医師会連合会行事予定について（福岡）

令和7年7月1日から8年6月30日までの年間行事予定の報告が行われた。

2) その他

故 小玉弘之先生（元日本医師会常任理事・前秋田県医師会長）への弔意について

（熊本）

6月25日に逝去され、九医連役員等慶弔規程に基づき弔電を送った旨の報告が行われた。

4 協 議

1) 九州医師会連合会会長・同副会長の互選について（福岡）

九医連会長に福岡県蓮澤会長、副会長に鹿児島県牧角会長が選出された。

2) 九州医師会連合会監事の選定について

（福岡）

慣例で担当県隣接の佐賀県、大分県から推薦することが承認された。

3) 九州医師会連合会第425回常任委員会（9月27日(土)）の開催について（福岡）

第1回連絡協議会への出席などを考慮して、開会時刻を少し早め15時半からグ

ランドハイアット福岡で開催することが承認された。

4) 第1回連絡協議会「持続できるのか？地域医療介護提供体制と医療機関等の経営」（9月27日(土)）の開催について

（福岡）

16時からグランドハイアット福岡で開催することが承認された。

またこれまでの開催方法を見直し、各県が①医業経営の現状と課題、②医業経営に関する医師会としての取組みと関わり方、③日医及び国への政策提言等を10分程度で発表し、シンポジウム形式で意見交換を行うこととなった。

5) 第1回勤務医連絡協議会（9月27日(土)）の開催について（福岡）

14時からグランドハイアット福岡で、「各県医師会の組織強化の取組み」をテーマに開催することが承認された。

今回は、大学との連携や若手医師の医師会活動への参加など、九州各県における勤務医支援をはじめとした組織強化に係る取組みを協議するとともに、日医勤務医委員会の動向もふまえ、九州ブロックの共通課題などを抽出・整理し日医へ提示することとなった。

6) 九州医師会連合会会則の一部改正について (福岡)

現状に沿うよう「役員欠員時の選出」や「委員総会の報告事項」に関する会則を改正することが提案され、原案どおり承認された。

[九州医師会連合会会則・改正案(抜粋)]

第9条 会長、副会長、監事に欠員を生じたときは、補欠を選任するものとする。

第14条 次の事項は、委員総会の議決を経なければならない。

- (1) 会則の変更に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他本会の目的達成上重要な事項

2 次の事項は、委員総会に報告しなければならない。

- (1) 庶務及び事業報告
- (2) その他会長が必要と認める事項

5 その他

- 1) 令和6年度医業経営調査結果について
(鹿児島)
- 2) 令和9年度九州医師会連合会行事予定について(佐賀)
- 3) 第24回核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会in長崎(令和7年10月2日(木)・3日(金)・4日(土)長崎市)の開催について
(長崎)

出席者－河野会長、竹崎事務局長

8月のベストセラー(宮崎県)

集計：2025年8月1日～8月22日

1 近畿地方のある場所について	背筋	角川文庫
2 国宝(上・下)	吉田修一	朝日文庫
3 マスカレード・ライフ	東野圭吾	集英社
4 すべての恋が終わるとしても	冬野夜空	スターツ出版
5 人は話し方が9割	永松茂久	すばる舎
6 8番出口 Exit 8	川村元気	水鈴社文庫
7 ババヤガの夜	王谷晶	河出文庫
8 やりたいことは全部やりなさい	森永卓郎	SBクリエイティブ新書
9 汝、星のごとく	風良ゆう	講談社文庫
10 蛍たちの祈り	町田そのこ	東京創元社

九州医師会連合会第423回常任委員会

と き 令和7年7月26日(土)

ところ ホテルニューオータニ佐賀（佐賀市）

※佐賀市で行われる九州ブロック学校保健・学校医大会にあわせ開催

1 開 会

2 挨 拶

九州医師会連合会長（福岡県蓮澤会長）

3 報 告

1) 世界医師会モンテビデオ理事会における若手医師の会議への派遣について（福岡）

組織強化の一環として、卒後10年以内の若手医師を世界医師会に派遣する事業で、令和7年度は、関東甲信越（神奈川県）と近畿ブロック（京都府）の先生が参加した旨の報告が行われた。

2) 小玉弘之先生（前秋田県医師会会長・元日本医師会常任理事）お別れの会への弔慰について（福岡）

7月21日に秋田市で開催されたお別れの会に、九医連役員等慶弔規程に基づき弔電を送った旨の報告が行われた。

3) 紀平幸一先生（前静岡県医師会会長）の旭日小綬章祝賀会への慶祝について（福岡）

9月28日に静岡市で開催される祝賀会に、九医連役員等慶弔規程に基づき祝電を送る予定である旨の報告が行われた。

4 協 議

1) 九州医師会連合会第426回常任委員会並びに第130回臨時委員総会（11月28日(金)福岡市）の開催について（福岡）

例年、九医連総会・医学会の前日に開

催している会議の提案で、ホテル日航福岡で開催することが承認された。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会（11月29日(土)福岡市）の開催について（福岡）

例年、九医連総会・医学会の当日午前中に開催している会議の提案で、ホテル日航福岡で開催することが承認された。

5 その他

1) 健康教育にかかる教育委員会との協議の場について（沖縄）

沖縄県では副読本を作成し小中学校へ無料配布している。「教育の中に健康づくりの視点を根付かせる」ために教育委員会と協議の場などを設けているかとの質問があり、九州各県の状況について意見交換が行われた。

2) 日医釜范敏副会長の辞任に伴う後任の推薦について

参院選の初当選をふまえ、辞任する意向を示した日医釜范敏副会長の後任に、九医連として候補者を推薦することが承認された。

出席－河野会長、竹崎事務局長

お知らせ

日本医師会作成 院内掲示用ポスターについて

日本医師会では、2025年度に以下4点のポスターを作成しております。無料でダウンロードが可能ですので、下記URLまたは二次元コードよりダウンロードのうえ、待合室に掲示いただくなど、ご活用をお願いいたします。



<https://www.med.or.jp/people/opinion/000002.html>

OTC類似薬を保険適用外にすることの問題点を指摘したポスター 2点



カスハラへの注意喚起を目的としたポスター 2点



日医インターネットニュースから

■持続可能な医療・介護・福祉に「全力で」

— 釜范氏が初登院 —

臨時国会が8月1日に召集され、7月の参院選で初当選した各議員が初登院した。日本医師連盟の組織内候補として自民党から出馬、当選した釜范敏参院議員は、メディファクスなどに対し「日本の医療・介護・福祉が持続可能になるよう全力で取り組む」との意気込みを改めて表明。「医療機関や介護施設が、ばたばたと倒れる事態が起きると国民に必要な医療・介護が提供できなくなる。何とかそうした事態を防ぎたい」と力を込めた。

当選決定後の挨拶回りでは期待の大きさを実感したといい、「それだけ、現場は大変ということだ」と受け止めた。「責任の重さを痛感している。大きな期待にしっかり応えられるかどうか、正直不安もある」と述べつつ、国民の役に立てるよう全力で取り組むと決意を新たにしました。

「まずは、2025年度補正予算の合意が得られれば、必要とする医療機関・介護施設に速やかに（予算を）届けられるよう取り組みたい」と説明。「診療報酬改定と介護の処遇改善の審議も非常に重要」と述べた。

当日は、自見英子参院議員も並んで取材に応じた。釜范氏と共に国会論戦へ臨むに当たり、「これから社会保障の議論は多難になるが、現場を熟知し患者に一番近いところにいた釜范先生が国政で議論に参画するという意義は、何にも代えがたい」との心境を語り、支援者への謝意を示した。

（令和7年8月5日）

■次期改定「大幅なプラス求める」

— 日医、26年度予算要求要望 —

日医は8月6日の定例会見で、2026年度予算要求要望の概要を発表した。▽地域医療▽医療DXの適切な推進▽医薬品の安定供給 — の3点で予算確保を要望。事項要求の26年度診療報酬改定への対応では、「高齢化分に加え、物価・賃金対応分の確保、さらには技術革新について、十分な国庫補助による支援、そして大幅なプラス改定を求める」と訴えた。松本吉郎会長は「医療費のどこかを削って財源を捻出する方法では、医療機関経営の改善には全くつながらない」と指摘。「財源を、いわゆる真水で加算することが必要だ」と強調した。

要望書は、7月31日に福岡資麿厚生労働相に提出した。

地域医療では、超高齢社会による地域の過疎化の進展や、救急などの医療需要の変化に対応するとともに、小児・周産期医療体制の強力な方策を検討する必要があると指摘。人材の養成・確保対策を講じることに加え、医療機関の建物の老朽化対策を含め、大規模災害や新興感染症パンデミックなどの有事にも対応できる強靱さを持った医療提供体制の構築が重要とした。その上で、地域医療介護総合確保基金の拡充や、柔軟な運用などによる有効活用とともに、新たな予算措置や現行予算の大幅な増額を求めた。

医療DXの適切な推進では、医療DXの導入を希望する全国の医療機関が、標準型電子カルテなどの医療情報システムを従来よりも低コスト、低労力で導入・維持できる環境整備が必要だと指摘。▽医療機関などのサイバーセキュ

リティー対策費用支援▽オンライン資格確認や標準型電子カルテをはじめとする医療DXの導入・維持支援 ― などの新たな予算措置や現行予算の大幅な増額を求めた。

医薬品の安定供給は、今年度新たに盛り込んだ。供給不安は改善傾向にあるものの、地域医療の現場では必要な医薬品が確保できず、治療の選択肢が制限されるなど患者への影響が深刻な状況にあると指摘。安定供給に向けた製造能力の強化や、後発医薬品産業の構造改革に対する新たな予算措置、現行予算の大幅な増額を求めた。

●補助金と診療報酬の両面から対応を

26年度改定への対応については、「賃金上昇と物価高騰、医療の技術革新への対応には、十分な原資が必要」と指摘。「著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での早期かつ適切な機動的対応が必要であり、さらに診療報酬で安定的に財源を確保しなければならない」と訴えた。

「26年度改定の前に、期中改定も求められている状況であり、補助金と診療報酬の両面から対応が必要」としながら、十分な国庫補助による支援と大幅なプラス改定を求めた。

(令和7年8月8日)

■日医, OTC類似薬保険除外に「断固反対」

― 江澤氏「治療アクセス絶たれる」―

江澤和彦常任理事は8月6日の会見で、OTC

類似薬を保険給付から除外する議論に「断固反対だ」と主張した。一般用医薬品は医療用医薬品に比べて価格が高いため、「保険適用の除外となった場合、経済的な問題で国民の治療アクセスが絶たれるという大きな問題が生じる」と懸念した。

保険除外によって、OTC類似薬を患者が薬局で購入する仕組みになった場合、「自己判断と自己責任で服用しなければならない、臨床的なリスクを伴うことになる」とも指摘。服用する薬の種類や、服薬期間などに関して患者自身で判断しなければならないため、「診断の遅れや重症化につながる恐れがある」と述べた。疾患や症状に対する適切な服用量や、相互作用や禁忌の有無などの自己判断は「極めて困難だ」と主張した。

政府の「骨太の方針2025」に「OTC類似薬の保険給付の在り方の見直し」との記載が盛り込まれたことにも言及した。あくまで「在り方の見直し」で、「保険適用除外」ではないと強調。「今後の議論の出発点は、保険適用除外ではなく、給付の見直しの検討だ」と念を押した。

医療保険制度の健全な持続のための医療費抑制には理解を示しつつも、OTC類似薬の保険給付の見直しは国民の健康リスクに与える影響が大きいため、「慎重な対応が求められる」と述べた。

(令和7年8月8日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID: 会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字 (半角)

医師協同組合だより**宮崎県医師協同組合 創立40周年記念行事のご案内**

日 時 令和7年10月11日(土) 17時～(受付 16時30分～)

会 場 シーガイアコンベンションセンター 4階

サミットホール「天樹・天葉」

宮崎市山崎町浜山 (TEL 0985-21-1111)

■ 記念講演会 (17時～18時30分)**演 題**

「診療報酬改定と補正予算による補助金支給に期待すること」

講 師

公益社団法人宮城県医師会 会長

日本医師会医業経営検討委員会 委員長 佐藤 和宏 様

演 題

「みやざきの更なる飛躍にむけた挑戦」

講 師

宮崎県知事 河野 俊嗣 様

■ 祝賀会 (18時45分～20時30分)**お問い合わせ先**

宮崎県医師協同組合 TEL 0985-23-9100

宮崎県医師協同組合からのお知らせ

宮崎県医師会グループ保険（団体定期保険）から 全国型グループ保険制度（日本医師休業共済会）への移行について

宮崎県医師会には、会員福祉事業の一環としてグループ保険（団体定期保険）制度が設けられております。

長年にわたり多くの会員の先生方にご加入いただいていたところですが、保険加入条件の制限等により、近年は加入者の減少が続き、同グループ保険制度を維持することが困難な状況になっておりました。

このような状況をふまえ、現在のグループ保険に加入されている先生方につきましては、同意を得たうえで、新たに健康状態の告知を行うことなく全国型グループ保険制度（日本医師休業共済会）へ移行して継続できることになりました（第8回県医師会全理事協議会、第5回県医師協同組合理事会において承認可決）。

つきましては、制度移行に関する確認文書を、当該先生方へ9月下旬にお送りする予定にしております。

本件に関するお問い合わせなどにつきましては、宮崎県医師協同組合（TEL 0985-23-9100）までご連絡をお願いいたします。

現行制度

宮崎県医師会グループ保険

→

新制度

全国型グループ保険

一般社団法人 日本医師休業共済会

「プラスグループ生命共済制度」

移行年月日 令和8年1月1日

医師国保組合だより

宮崎県医師国民健康保険組合第133回通常組合会

と き 令和7年7月17日(休)

ところ 県医師会館とWebのハイブリッド形式

原田議長による開会宣言の後、令和6年度中にご逝去された2名の組合員に対し弔意を表し、黙祷を捧げた。続いて秦理事長より、初のリモート併用による開催が円滑に実施できたことへの謝意が述べられ、被保険者数の減少をはじめとする国保組合が直面する諸課題に関する挨拶があり、議事に入った。

議事では、令和6年度事業報告、歳入歳出決算、ならびに剰余金処分の3議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認された。その概要は次のとおり。

1 議 事

議案第1号 令和6年度事業報告について

年間平均被保険者数は1,329人で、10年前から約2割減少しており、特に家族加入者の減少が顕著である。一方、平成9年9月1日以降に健康保険の適用除外承認を受けて加入した特定被保険者は年々増加しているが、該当被保険者に対する一部の国庫補助率は0%であるため、財政への影響が懸念される。

保険料は医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分、および75歳以上の高齢組合員分で構成され、保険料ごとに必要に応じて見直し・引き上げを実施しているが、被保険者数の減少により収入は横ばいとなっている。

療養諸費の保険者負担額は約2億4,000万円で、前年度比で約3,000万円増加した。件

数は前年度並みのため、1件あたりの負担額が増加している。過去10年間の推移を見ると、新型コロナウイルス発生により一時的に減少した負担額が5類移行後に再び増加し、コロナ前の水準まで回復している。

特定健診の受診率は約43%で毎年上昇傾向であるが、特定保健指導と合わせて国の目標には達していない。

議案第2号 令和6年度歳入歳出決算について

歳入合計5億8,511万8,488円、歳出合計4億7,817万5,539円で、差引残額は1億694万2,949円となった。前年度繰越金を除いた単年度収支は978万7,010円の黒字である。

決算の全体を「医療給付費」、「後期高齢者支援金」、「介護納付金」、「高額医療費共同事業」の4区分に分け、それぞれの歳入と歳出の関係を見てみると、まず医療給付費では、被保険者数の減少により保険料収入は前年度比で減少した。一方で、前期高齢者の増加にともない前期高齢者交付金は約1,600万円増加した。歳出では、療養諸費、高額療養費、傷病手当金の増加が顕著で前年度比約3,800万円の増となった。これにともない国庫補助金が増加したものの差引収支は約1,000万円の赤字となった。令和7年度に組合員に限り医療給付費分の保険料を引き上げ、赤字改善を見込んでいる。

後期高齢者支援金は約9,000万円で毎年一人あたり約3%増加しており、現役世代の負担が増加傾向で赤字が続いている。令和5年から2年連続で全被保険者の保険料を引き上げているが、赤字改善には至っておらず、令和7年度も引き続き引き上げを実施した。

介護納付金については、介護保険2号被保険者数の減少により納付額自体が減額となっており、保険料と国庫補助金で安定的に対応できている。

高額医療費共同事業については、高額医療費の増加にともない交付金が前年度より約1,800万円増加し、拠出金との差引額は約2,000万円の黒字となった。この交付金の増加が令和6年度の単年度収支の黒字額に寄与している。なお、この共同事業は全国158の国保組合により運用されており、100万円以上1,000万円以下のレセプトに対しては、当該年度に交付金が支給され、これに対する拠出金は2年後から3年間にわたり返済する仕組みとなっている。また1,000万円を超えるレセプ

トを対象とした事業が令和5年度より開始されており、こちらは各組合からの被保険者一人あたりの拠出金により運営されている。本組合では、1,000万円超のレセプトは発生しなかったが、昨年度の拠出金は51万円（一人約370円）と少額で、今後万が一高額な医療費が発生した場合に、小規模組合の財政的負担軽減に貢献する事業となっている。

また、積立金総額は約3億1,000万円で、法定の特別積立金と給付費等支払準備積立金は十分な額を確保している。

議案第3号 令和6年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている特別積立金および給付費等支払準備積立金については、いずれも保有額が法定額を上回っているため、新たな積立は不要と判断し、歳入歳出差し引き剰余金1億694万2,949円の全額を令和7年度会計へ繰り越すことが可決、承認された。

出席議員 25名/定数 30名（※はリモート出席）

1番 牛谷義秀※
2番 内野竜二※
3番 岡留敏秀※
5番 菊池安剛※
6番 木佐貫博人
7番 國枝良行※
8番 神尊敏彦
9番 佐藤潤一郎
10番 田中宏幸
11番 谷口二郎
12番 原田雄一
13番 弘野修一
14番 早稲田真

15番 野邊俊文
16番 大岐照彦
17番 鵜木俊秀※
19番 安藤誠※
21番 長田浩伸※
22番 竹中美香※
23番 蟻塚高生
24番 永友淳司
25番 川西昭人※
26番 津曲俊郎
27番 杉原純次※
28番 石澤宗純※

出席理事 10名

理事長 秦喜八郎
副理事長 小牧斎
副理事長 石川智信
常務理事 佐々木究
常務理事 市来能成
理事 北村洋
理事 高木純一
理事 玉置昇
理事 上山貴子
理事 河原勝博

出席監事 2名

監事 棚田敏文
監事 山路健

令和6年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計	585,118,488円
歳 出 合 計	478,175,539円
歳 入 歳 出 差 引 残 額	106,942,949円
(令 和 5 年 度 繰 越 金	97,155,939円)
(積 立 金 繰 入 金	0円)
(令 和 6 年 度 単 年 度 収 支	9,787,010円)

(歳 入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険料	1 国民健康保険料	370,365,000	372,626,600	372,626,600	0	0	2,261,600
2 一部負担金	1 一部負担金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
3 国庫支出金		41,149,000	46,619,314	46,619,314	0	0	5,470,314
	1 国庫負担金	1,537,000	1,896,786	1,896,786	0	0	359,786
	2 国庫補助金	39,612,000	44,722,528	44,722,528	0	0	5,110,528
4 前期高齢者交付金	1 前期高齢者交付金	36,200,000	36,352,794	36,352,794	0	0	152,794
5 出産育児交付金	1 出産育児交付金	52,000	51,978	51,978	0	0	△ 22
6 県支出金	1 県補助金	2,000	0	0	0	0	△ 2,000
7 共同事業交付金	1 共同事業交付金	12,357,000	31,049,000	31,049,000	0	0	18,692,000
8 財産収入	1 財産運用収入	170,000	0	0	0	0	△ 170,000
9 繰入金	1 繰入金	5,000	0	0	0	0	△ 5,000
10 繰越金	1 繰越金	107,371,000	97,155,939	97,155,939	0	0	△ 10,215,061
11 諸収入		263,000	1,262,863	1,262,863	0	0	999,863
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
	2 預金利子	1,000	805	805	0	0	△ 195
	3 雑収入	261,000	1,262,058	1,262,058	0	0	1,001,058
歳入合計		567,935,000	585,118,488	585,118,488	0	0	17,183,488

(歳 出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 組合会費	1 組合会費	5,053,000	4,462,433	0	590,567	590,567
2 総務費	1 総務管理費	45,872,000	41,098,453	0	4,773,547	4,773,547
3 保険給付費		265,899,533	265,410,586	0	488,947	488,947
	1 療養諸費	241,622,573	241,622,573	0	0	0
	2 高額療養費	19,207,470	19,128,013	0	79,457	79,457
	3 移送費	1,000	0	0	1,000	1,000
	4 出産育児諸費	908,490	500,000	0	408,490	408,490
	5 葬祭諸費	100,000	100,000	0	0	0
	6 傷病諸費	4,060,000	4,060,000	0	0	0
4 後期高齢者支援金等	1 後期高齢者支援金等	90,624,000	89,949,406	0	674,594	674,594
5 前期高齢者納付金等	1 前期高齢者納付金等	185,233	184,578	0	655	655
6 介護納付金	1 介護納付金	39,582,152	39,582,152	0	0	0
7 流行初期医療確保拠出金等	1 流行初期医療確保拠出金等	2,000	0	0	2,000	2,000
8 共同事業拠出金		16,078,000	14,803,124	0	1,274,876	1,274,876
	1 共同事業拠出金	12,364,000	11,460,000	0	904,000	904,000
	2 共同事業負担金	3,714,000	3,343,124	0	370,876	370,876
9 保健事業費		25,520,000	21,923,852	0	3,596,148	3,596,148
	1 特定健康診査等事業費	3,610,000	3,409,783	0	200,217	200,217
	2 保健事業費	21,910,000	18,514,069	0	3,395,931	3,395,931
10 積立金	1 積立金	5,000	0	0	5,000	5,000
11 組合債費	1 組合債費	1,000	0	0	1,000	1,000
12 諸支出金	1 償還金及び還付加算金	1,032,955	760,955	0	272,000	272,000
13 予備費	1 予備費	78,080,127	0	0	78,080,127	78,080,127
歳出合計		567,935,000	478,175,539	0	89,759,461	89,759,461

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

**令和7年7月1日(火) 第7回全理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 後援・共催名義等使用許可について**

①11/8(土)(日向市) 宮崎県精神保健福祉大会の後援について

→県民の心身の健康の保持増進や地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に「ささえあい～日向(ひなた)から笑顔を発信しよう～」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

②11/15(土)・16(日)(宮大医学部) 清花祭清武キャンパス医学展の名義後援について
→宮崎大学学園祭の清花祭において医学部の学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことと、医師会入会促進を行うための「医師会ブース」を設置することを実行委員会に要望することが承認された。

2. 10/2(木)～4(土)(長崎) IPPNW世界大会in長崎大会へのご支援のお願いについて

被爆80周年を迎える長崎において、「核なき世界～長崎を最後の被爆地に」をテーマに行われる核戦争防止国際医師会議(IPPNW)で、九医連での取り決めどおり30万円の協力を行うことが承認された。

3. 令和7年度救急医療功労者知事表彰候補者の推薦について

救急医療対策の推進等、救急医療の確保に貢献した医師等に対する表彰で4名を推薦することが承認された。

4. 7/24(木)(県防災庁舎)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

3医療機関を対象に行われる新規個別指導で、高木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 8/28(木)医師の働き方改革Web研修会の開催について

「離職防止と人材確保に向けて」をテーマとした研修会で、案のとおり開催することが承認された。

6. 12/14(日)(宮崎市) 青島太平洋マラソン2025救護態勢へのご協力をお願いについて

宮崎市において開催されるマラソン大会の救護体制に関する依頼で、協力することが承認された。

7. 令和8年度地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る事業提案について

「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備」、「居宅等における医療提供」、「医療従事者等の確保」に関する事業提案を、各郡市医師会、各専門分科医会、県医師会病院部会、県精神科病院協会、県有床診療所協議会に照会することが承認された。

8. 9/13(土)(沖縄) 女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の開催について

各県医師会におけるドクターバンクの取り組みや女性医師支援等について報告等を行う会議で、金丸副会長、荒木常任理事、上山理事が出席することが承認された。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 6月末日現在の会員数について****3. 6/28(土)(宮観ホテル) 宮崎大学医学部精神科平野羊嗣教授 就任祝賀会について**

4. 6/29(日)全国有床診療所協議会緊急臨時理事会・常任執行委員会について
5. 6/25(水)（宮大医学部）県がん診療連携協議会について
6. 6/30(月)県地域医療構想策定データ分析キックオフミーティングについて
7. 6/25(水)（県医）保育サポート会員スキルアップ研修会・交流会について
8. 6/26(木)県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
9. 6/30(月)（県医）園医部会理事会について
10. 6/30(月)（県医）組織強化・将来構想委員会小委員会について
11. 6/28(土)（県医）県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
12. 6/28(土)（県医）県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・全体研修会について
13. 7/1(火)（県防災庁舎）県歯科保健推進協議会について
14. 6/26(木)（県総合保健センター）県健康づくり協会評議員会について
15. 6/25(水)（宮崎労働局）労災診療指導委員会・労災部会理事会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 7/8(火)都道府県医師連盟・郡市区医師連盟拡大選挙対策会議の開催について
河野委員長が出席することが承認された。
2. その他
各郡市医師連盟のかまやちさとし先生への支援状況について意見交換を行うため、7月8日(火)に「県医師連盟選挙対策本部会議」をWebで開催することが承認された。

令和7年7月15日(火) 第3回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ①県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について
→後期高齢者の療養費の適正化について

検討する研究会の委員について、任期満了に伴い内科2名、整形外科2名の委員の推薦依頼があり、本会役員から吉見常任理事と河原理事、整形外科医会から黒木隆男先生、残り1名については現委員に再任の方向で意向を確認し、必要があれば内科医会に人選をお願いし推薦することが承認された。

- ②県介護支援専門員スキルアップ事業における県介護支援専門員研修向上委員会の委員等の推薦について

→介護支援専門員の研修の評価や見直しを検討する委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き県介護支援専門員協会の牛谷会長を推薦することが承認された。

- ③県高齢者サービス総合調整推進会議委員の推薦について

→高齢者に係る福祉・保健・医療サービスの調整と総合的推進を図るために設置される会議委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された。

- ④九州地方社会保険医療協議会臨時委員の委嘱について

→保険医療機関の指定や取消しなどを審議する九州地方社会保険医療協議会宮崎部会の、診療側臨時委員の任期満了に伴い、引き続き嶋本常任理事に委嘱をしたいとの依頼で、承認をした。

- ⑤県防災会議の委員及び幹事の推薦について

→本県における総合的な防災行政の推進を目的に設置される会議で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、委員として河野会長、幹事として落合常任理事を推薦することが承認された。

- ⑥新人看護職員研修推進協議会委員の推薦について

→新人看護職員研修事業の円滑な推進を図るために設置されている協議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、医療従事者担当の池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

- ①令和7年度救急医療施設医師等研修業務の委託契約について
→救急医療に対する学識と技能向上を図ることを目的とした研修事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①11/8(土) (県立図書館)「いいお産の日in 宮崎」の名義後援について
→「わたしたちのお産と育児を創造しよう～両親学級ひなたバージョン～」をテーマに開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。
- ②9/13(土) (宮崎市民プラザ) 宮崎健康フォーラムの名義後援について
→「超高齢化社会を見据えた老年医学」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。
- ③認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援申請について
→県内のスポーツに親しむ者の健康管理を行うスタッフの育成等を目的に開催される講習会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 厚生功労に係る令和8年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

5. 8/23(土) (福岡) 九州医師会連合会第424回常任委員会並びに第129回定例委員総会の開催について

常任委員会については河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局へ提出し取扱いについては会長に一任することが承認された。定例委員総会については、河野会長を含む8名の九医連役員の欠席を確認したうえで回答することが承認された。

6. 9/27(土) (福岡) 「九州医師会連合会第425回常任委員会」並びに「九州医師会連合会第1回連絡協議会」の開催について

常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局

経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。連絡協議会については、発表内容の作成と発表者、その他出席役員をテーマと議題を考慮して、副会長が調整を行うことが承認された。

7. 9/27(土) (福岡) 「九州医師会連合会第1回勤務医連絡協議会」の開催について

「各県医師会の組織強化の取組み」をテーマに開催される協議会で、本会からの出席役員と大学等からの出席について、副会長が調整を行うことが承認された。

8. 世界医師会準会員の更新について

本会から河野会長、小牧・金丸副会長を登録すること及び個人登録の会員については意向を確認のうえ手続きをすることが承認された。

9. 9/21(日) (日医) 「日医かかりつけ医機能研修制度 令和7年度応用研修会 第1回」の開催について

日医で開催される第1回応用研修会の資料を用い、本県で11月16日に開催することが承認された。

(報告事項)

1. 7/5(土) (福岡) 九医連常任委員会について
2. 7/11(金) (県立看護大学) 県地方独立行政法人評価委員会について
3. 7/3(木) (県防災庁舎) 県総合計画審議会について
4. 7/14(月) (県医) 広報委員会について
5. 7/3(木) (日医) 日医医業経営検討委員会について
6. 7/3(木) (県医) 全国医師会産業医部会連絡協議会について
7. 6/26(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
8. 7/5(土)・6(日) (福岡) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について
9. 6/29(日) (東京) レジナビフェア2025東京について
10. 7/9(水) (県医) 健康スポーツ医学委員会について

11. 7/12(土) (宮観ホテル) 県専門研修プログラム合同説明会について
12. 7/3(木) (小林) 社会保険医療担当者の個別指導について
13. 7/7(月) (県医) 県糖尿病対策推進会議幹事会について
14. 7/9(水) (宮大医学部) 県難病対策協議会について
15. 7/9(水) 日医救急災害医療対策委員会について
医師連盟関係
(議決事項)
1. 8/23(土) (福岡) 九州医連連絡会第26回執行委員会の開催について
河野委員長を含む8名の九州医連連絡会執行委員の出欠を確認したうえで回答することが承認された。
2. 9/11(木) (宮観ホテル) 三師会懇談会の開催について
河野委員長他5名の参加と、提出議題があれば事務局を經由して委員長に提出し、取扱いについては委員長一任とすることが承認された。
(報告事項)
1. 7/5(土) (福岡) 九州医連連絡会常任執行委員会について
2. 7/8(火) 都道府県医師連盟・郡市区医師連盟 日医連拡大選挙対策会議について
3. 7/8(火)・15(火) (県医) 県医師連盟選挙対策本部及び実務者会議について

令和7年7月29日(火) 第8回全理事協議会

**医師会関係
(議決事項)**

1. 会費減免申請について
高齢による県医会費減免2名の申請が承認された。
2. 資金の運用について
「建物減価償却積立資産」と「会館建設償返済積立資産」について、国債を購入することが承認された。

3. 10/2(木) SNSの活用に関する勉強会の開催について
SNSの活用方法などを説明する勉強会で、荒木常任理事が出席することが承認された。
4. 本会外の役員等の推薦について
①県国民保護協議会委員の承諾及び幹事の推薦について
→国民保護計画等について審議するために設置される協議会の、任期満了に伴う委員の就任承諾と幹事の推薦依頼で、委員は河野会長が就任することと、幹事は落合理事を推薦することが承認された。
②地域医療構想アドバイザーの推薦について
→各構想区域の実情に応じたデータの整理や論点の提示等の地域医療構想調整会議の事務局が担うべき機能を補完する役目である地域医療構想アドバイザーについて、県推薦の松田晋哉先生と松田俊太郎先生を承認することと、県医師会から金丸副会長と落合常任理事を推薦することが承認された。
③県難病対策協議会委員の推薦及び就任について
→難病医療提供体制の整備を目的として設置される委員会、任期満了に伴う後任の推薦依頼があり、玉置常任理事を推薦することが承認された。
5. 業務委託について
①令和7年度外国人患者受入れ環境整備推進セミナー事業の委託契約について
→外国人患者の受入体制整備に必要な知識を学ぶためのセミナーを開催する事業で、契約を締結することが承認された。
6. 後援・共催名義等使用許可について
①10/5(日) (330記念交流会館) 運動器の健康・骨と関節の日 市民公開講座「ひむか骨と関節を考える会」への名義後援について
→運動器の仕組みや障害、予防法について市民の理解を深めることを目的に開

催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

7. 令和7年度公衆衛生事業功労者表彰（日本公衆衛生協会会長表彰）の推薦について

公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動を続けてきた方を表彰するための推薦依頼で、各郡市医師会に照会の結果、3名を推薦することが承認された。

8. 宮崎日日新聞賞候補者推薦のお願いについて

本県の社会や産業、文化などの分野で優れた業績を残された個人や夫婦、団体を検証するための推薦依頼で、県産婦人科医会を推薦することが承認された。

9. 10/4(土)第160回日本医師会臨時代議員会の開催について

日医代議員の河野会長、小牧・金丸副会長、市来常任理事が出席することが承認された。

10. 9/8(月)県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会について

県内の医療機関等職員及び行政職員を対象にした、予防接種に係る最新の知見、今後の新興感染症発生に備えた地域の医療体制の在り方に関する研修会で、県との共催で開催することと、本会が会員への周知をすることが承認された。

11. 10/18(土)（愛知）全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会等をもって組織される協議会で、金丸副会長と池井常任理事の出席が承認された。

12. 8/21(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、赤須常任理事を立会人として派遣することが承認された。

13. 県医師会グループ保険の解約及び大型グループ保険への移行について

現行のグループ保険は令和8年1月10日をもって解約し、新たに令和8年1月1日より契約者と事務所管を県医師協同組合と

した大型グループ保険に移行することが承認された。

14. 8/20(水)広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修会について

EMISのログイン方法や緊急時入力などの操作説明を行う研修会で、本会から会員への周知に協力することが承認された。

15. 11/8(土)（岩手）全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について

「勤務医が生き生きと活躍できる場を作る～混沌を成長の機会に～」をテーマに開催される協議会で、金丸副会長、嶋本常任理事、田畑・山中理事が出席することが承認された。

16. 8・9月の行事予定について（報告事項）

1. 7/16(水)（支払基金）支払基金審査運営協議会について

2. 7/16(水)（日南）南那珂医師会との意見交換会について

3. 7/19(土)・20(日)（秋田）全国有床診療所協議会総会・講演会について

4. 7/23(水)（日医）日医有床診療所委員会について

5. 7/26(土)（佐賀）九医連常任委員会について

6. 7/16(水)（日医）日医地域医療対策委員会について

7. 7/22(火)県市町村消防連携・協力推進協議会第1回会議について

8. 7/23(水)（県医）広報委員会について

9. 7/29(火)（県庁）県個人情報保護審議会について

10. 7/18(金)（県医）健康教育委員会について

11. 7/29(火)（県防災庁舎）県自殺対策推進協議会について

12. 7/24(木)（県防災庁舎）社会保険医療担当者の新規個別指導について

13. 7/26(土)・27(日)（佐賀）九州ブロック学校保健・学校医大会他関連行事について

14. 7/29(火)（九州厚生局宮崎事務所）九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

15. 7/16(水) (宮大医学部) 宮崎大学医学部講義「地域社会と医療」について
16. 7/17(木) (県防災庁舎) 宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会について
17. 7/24(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について
18. 7/26(土) 日医未来医師会ビジョン委員会について
19. 7/24(木) (第一宮銀ビル) 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会について
20. 7/24(木) (県防災庁舎) 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会について
21. 7/9(水)・17(木) (県医) 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座について
22. 7/11(金) (県医) 勤務医部会理事会について
23. 7/12(土) (県医) 労災部会総会について

(議決事項)

1. 8/9(土) (宮観ホテル) 参議院議員通常選挙 総括のお願いについて
委員長が出席することが承認された。
2. 8/19(火) (日医) 日医連執行委員会及び羽生田俊先生慰労会開催について
出席者については、後日、検討することとなった。

(報告事項)

1. 参議院議員選挙の結果について
2. 7/25(金) (宮観ホテル) 自民党県連 国・県に対する政策・予算等要望ヒアリングについて

お知らせ

令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生採用のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、採用に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 9名(男0人, 女9人)

【就職希望地】 宮崎市内6名, 都城1名,
日向・延岡1名, 西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

県 医 の 動 き

(8月)

1	(東京) 全国医師国保組合連合会代表者会 県外科医会夏期講演会 (Web会議) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブ ロック会議打合せ会 (金丸副会長他)	22	医局員に対する医師会活動説明会 (病理学) (落合常任理事) 医局員に対する医師会活動説明会 (呼吸器・膠 原病・感染症・脳神経内科学) (大塚常任理事) 医局員に対する医師会活動説明会 (整形外科) (大塚常任理事) 広報委員会 (荒木常任理事他) 広報委員会学生委員との意見交換会 (小牧副会長他)
2	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 (福岡) 九医国保連将来問題検討委員会 (佐々木理事) 組織強化・将来構想委員会小委員会 (会長他)	23	産業医研修会 (前期) (大塚常任理事) (福岡) 九医連常任委員会 (会長) (福岡) 九医連定例委員総会 (会長他) (福岡) 九州医連連絡会執行委員会 (委員長他)
4	県地方独立行政法人評価委員会 (小牧副会長) 損保ジャパンとの懇談会 (会長他)	24	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (吉見常任理事) 中四九地区医師会看護学校協議会 (Web会議) (赤須常任理事) 全国有床診療所協議会理事会・有床診療所医師 連盟執行委員会 (Web会議) (会長)
5	公益法人立入検査 (アイバンク) 第4回常任理事協議会 (会長他)	25	県国民健康保険運営協議会 (小牧副会長) 男女共同参画委員会 (Web会議) (金丸副会長他)
6	宮崎東諸県地域医療構想調整会議 (金丸副会長) 周産期医療ネットワークシステム機器更新にか かる説明会 (Web会議)	26	医局員に対する医師会活動説明会 (泌尿器科学) (大塚常任理事) 県周産期医療協議会 (Web会議) (高木常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 医師協理事会 (河野理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 第10回全理事協議会 (会長他) 役職員懇談会 (会長他)
7	県総合計画審議会 (金丸副会長) 勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議) (金丸副会長他)	27	労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) 県医療介護推進協議会地域リハビリテーション 支援体制検討部会 (吉見常任理事)
8	県有床診療所協議会総会・講演会 (Web会議) (会長他) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会引継会 (Web会議) (上山理事)	28	医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業 説明会 (Web会議) (荒木常任理事) 地域医療対策協議会プログラム運用部会 (大塚常任理事) 地域医療対策協議会 (会長他) 第1回医師の働き方改革Web研修会 (Web会議) (池井常任理事) 県との妊婦健診等に関する協議会 (嶋本常任理事他)
9	自民党県連 党紀委員会 (会長) 自民党県連 総務・支部長合同会議 (会長)	29	県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 (Web会議) (池井常任理事) 医師国保組合理事会 (秦理事長他) 三師会会長会 (会長)
12	臨床研究倫理審査委員会 (荒木常任理事他)	30	(群馬) 全国医師会共同利用施設総会関係者打 合せ会 (会長他) (群馬) 全国医師会共同利用施設総会 (会長他) 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研 修会 (Web会議)
14	医局員に対する医師会活動説明会 (耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学) (大塚常任理事)	31	(群馬) 全国医師会共同利用施設総会 (会長他)
16	県小児科医会子ども健康セミナー (Web会議) (高木常任理事)		
19	(日医) 日医連執行委員会 (河野委員長他) 医局員に対する医師会活動説明会 (眼科学) (大塚常任理事) 第9回全理事協議会 (Web会議) (小牧副会長他)		
20	医局員に対する医師会活動説明会 (救急・災害 医学) (大塚常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会 (Web会議) (吉見常任理事) 支払基金審査運営協議会 (会長) 在宅医療協議会総会・研修会 (Web会議) (吉見常任理事他) 県産婦人科医会医療保険委員会 (Web会議) (嶋本常任理事他)		
21	(高千穂町) 社会保険医療担当者の新規個別指導 (赤須常任理事) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会 (大塚常任理事) 学校医部会総会・医学会 (Web会議) (会長他) 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他)		

ドクターバンク情報
(無料職業紹介所)

令和 7 年 8 月 1 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在、下記のとりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 10人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整 形 外 科	3	3	0
精 神 科	1	0	1
放 射 線 科	1	0	1
総 合 診 療 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 107人

	合 計
令和7年度(4/1～8/1)	3
平成16年度から累計	107

3. 求人登録 107件 296人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	93	69	24
外 科	21	18	3
整 形 外 科	18	15	3
精 神 科	13	12	1
脳 神 経 外 科	2	2	0
循 環 器 科	14	11	3
消 化 器 内 科	21	16	5
麻 酔 科	5	5	0
眼 科	10	6	4
放 射 線 科	9	9	0
小 児 科	3	2	1
呼 吸 器 科	0	0	0
在 宅 診 療	4	3	1
総合診療科・内科	13	8	5
脳 神 経 内 科	2	2	0
呼 吸 器 内 科	12	8	4
リハビリテーション科	5	3	2
救 命 救 急 科	7	5	2

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
消 化 器 外 科	4	2	2
乳 腺 外 科	2	2	0
健 診	2	2	0
泌 尿 器 科	4	3	1
産 婦 人 科	0	0	0
検 診	0	0	0
皮 膚 科	0	0	0
婦 人 科	0	0	0
呼 吸 器 外 科	0	0	0
人 工 透 析	12	8	4
リウマチ科	0	0	0
臨床病理科	0	0	0
形 成 外 科	0	0	0
診療科目不問	9	4	5
緩 和 ケ ア	0	0	0
内分分泌糖尿病内科	6	4	2
そ の 他	5	3	2
合 計	296	222	74

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のぎクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230240	医)順養会 海老原病院	国富町	内	1	常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和7年8月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり (16台)
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり (15台)
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり (6台) 別途、賃貸の駐車場 (22台)
2. 賃貸物件又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は、2階, 3階 (グループホームやすらぎ)
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 (旧) のぞみ医院跡 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台)

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年8月27日

9				月				
1	月	19：00	医学会誌編集委員会（Web会議）	17	水	12：30	医局員に対する医師会活動説明会（循環器・腎臓内科学）	国保審査
2	火	19：00	第5回常任理事協議会			16：00	支払基金審査運営協議会	
3	水	15：00	（日医）日医地域医療対策委員会			15：00	（日医）日医有床診療所委員会	
4	木	13：15	医局員に対する医師会活動説明会（放射線医学）	18	木	18：30	社会保険医療担当者の集団的個別指導	
		14：30	地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会			19：00	土曜会（報道機関支局長の会）との懇談会	
		16：30	県立病院事業評価委員会			19：00	（高鍋町）西都児湯地域医療構想調整会議	
		18：00	性と生殖に関する調査検討会					
5	金	12：30	医局員に対する医師会活動説明会（小児科学）	19	金	19：00	未来の医療を語るオールみやざき交流会	
		19：00	認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（Web会議）			12：30	保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会	
6	土	15：30	（佐賀）九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会	20	土	14：30	産業医研修会（前期）	
		15：30	県医師会医学会（Web会議）			15：00	県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会（Web会議）	
		16：30	（福岡）九州医師協同組合連合会理事会			21	日	
7	日			22	月			
8	月	18：00	県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会（Web会議）	24	水	13：30	全国国保組合協会理事長・役員研修会（Web会議）	
		19：00	広報委員会勉強会（荒木常任理事他）			15：00	労災診療指導委員会・労災部会理事会	
9	火	12：30	医局員に対する医師会活動説明会（血液・糖尿病・内分泌内科学）			18：00	医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議）	
		19：00	組織強化・将来構想委員会小委員会			19：00	広報委員会	
10	水	12：30	医局員に対する医師会活動説明会（脳神経外科学）	25	木	14：30	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会	
11	木	19：00	県産婦人科医会常任理事会			16：30	日医医療経営検討委員会（Web会議）	
		19：00	三師会懇談会			18：00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
12	金	8：00	医局員に対する医師会活動説明会（肝胆膵外科学、心臓血管外科学）			19：00	セキュリティインシデント対応研修会（Web会議）	
13	土	14：00	（沖縄）日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議	26	金	7：15	医局員に対する医師会活動説明会（麻酔生体管理学）	
		14：30	産業医研修会（実地）			19：00	県内科医会理事会（Web会議）	
		16：00	（長崎）全国国保組合協会九州支部総会	27	土	14：00	（福岡）九医連勤務医連絡協議会	
14	日					15：30	（福岡）九医連常任委員会	
15	月		（敬老の日）			16：00	（福岡）九医連連絡協議会	
16	火	19：00	第11回全理事協議会（Web会議）	28	日			
		19：00	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会打合せ会	29	月	18：45	園医部会総会・研修会（Web会議）	
						19：00	県内科医会会誌編集委員会	
				30	火	18：30	医師協理会	
						19：00	医師協理事・運営委員合同協議会	
						終了後	第12回全理事協議会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

国
保
審
査社
保
審
査

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年8月27日

10			月		
1	水		16	木	19:00 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症 重症化予防研修会 (Web会議)
2	木	14:00 SNSの活用に関する勉強会 (Web会議) 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議)	17	金	
3	金	10:00 (国富町) ロコモ予防運動推進事 業養成講座 14:30 (新富町) ロコモ予防運動推進事 業養成講座	18	土	(福岡) 九医協連通常総会 16:00 (愛知) 全国医師会医療秘 書学院連絡協議会定例総会等
4	土	13:30 日医臨時代議員会	19	日	県小児科医会秋季学術講演会
5	日		20	月	12:30 医局員に対する医師会活動 説明会 (精神医学) 19:00 広報委員会
6	月	16:00 医局員に対する医師会活動説明会 (産婦人科学)	21	火	15:00 (日医) 都道府県医師会会長会議
7	火	18:30 第13回全理事協議会 19:00 宮崎大学と県医師会との懇談会	22	水	
8	水	14:00 (日医) 都道府県医師会組織強化 担当役職員連絡協議会	23	木	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩 マッサージ療養費審査委員会
9	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会	24	金	
10	金	18:45 スポーツドクター連盟総会 19:00 健康スポーツ医学セミナー (Web会議)	25	土	15:00 県警察医会総会・特別講演会 19:00 宮崎江南病院創立70周年記 念式典
11	土	12:30 (福井) 全国医師国保組合連合会 代表者会・全体協議会 17:00 県医師協同組合創立40周年記念行事	26	日	9:00 人体シミュレータを用いた 小児在宅医療実技講習会 10:00 (日医) 日医社会保険指導者 講習会
12	日	13:30 宮崎から医師をめざそう! 応援フ ォーラム	27	月	
13	月	(スポーツの日) 10:00 (日医) 診療所を対象とした新興 感染症対策リーダー研修	28	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会 18:00 医師協理事会 18:30 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第14回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会
14	火	13:30 県障害者施策推進協議会 19:00 第6回常任理事協議会 (web会議)	29	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理 事会 15:30 県健康づくり推進協議会 18:00 医師クラーク育成・スキルアップ 研修会 (Web会議)
15	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会	30	木	
16	木	14:00 (日医) 日医広報委員会 17:00 県訪問看護ステーション連絡協議 会役員と各支部との意見交換会	31	金	13:00 医療保険請求事務実技試験

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

生命

いのち

第9回

を見つめる

フォト&エッセー

作品募集中

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

応募締め切り
2025年
10月3日(金)
必着

両部門に
賞を新設

フォト部門

生命の尊さを感じさせる、
あるいは生命の輝く瞬間を
とらえた作品を募集します。

最高賞金 10万円

 熊切大輔 日本写真家協会会長	 岩合光昭 動物写真家 cMachi Inc.代表	 奈緒 俳優
--	---	---

エッセー部門

医師や看護師との交流、ご
家族の介護や生命の誕生に
まつわる話などを募集します。

最高賞金 30万円

 養老孟司 東京大学名誉教授 /解剖学者	 玄侑宗久 作家 / 福沢寺住職	 水野真紀 俳優
--	---	---

公式ホームページ <https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/> 生命を見つめるフォト&エッセー 検索

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



フォト部門



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2022年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点)……………賞金 10万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点)……………賞金 10万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点)……………賞金 10万円・賞状他
- 東京海上日動賞(1点)……………賞金 10万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点)……………賞金 5万円・賞状他



小中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点)……………QUOカード 5千円分・賞状他

エッセー部門



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」なども可)。

また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。

小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

- 【一般の部・中高生の部】……………2,000字(原稿用紙1~5枚)以内
- 【小学生高学年の部(4~6年生)】……………1,200字(原稿用紙1~3枚)以内
- 【小学生低学年の部(1~3年生)】……………800字(原稿用紙1~2枚)以内
- 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点)……………賞金 30万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点)……………賞金 30万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点)……………賞金 30万円・賞状他
- 東京海上日動あんしん生命賞(1点)……………賞金 30万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点)……………賞金 10万円・賞状他



中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点)……………QUOカード 5千円分・賞状他



小学生高学年の部

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 1万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点)……………QUOカード 5千円分・賞状他



小学生低学年の部

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 5千円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点)……………QUOカード 3千円分・賞状他

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。
- 盗作・二重応募・類似・事実でない創作作品の応募は固くお断りいたします。
- 応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2026年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトに、作品と実名・年齢・顔写真・学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2026年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

応募方法

- ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(8または2B)・ボールペン・万年筆のいずれかを、濃く書いてください。
- 郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



公式ホームページQRコード

お問い合わせ

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局
TEL:03-3216-8598 (平日10:00~17:00)

作品送付先:〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募用紙

応募部門

フォト部門

一般の部

小中高生の部

エッセー部門

一般の部

中高生の部

エッセー部門

小学生高学年の部

(4~6年生)

小学生低学年の部

(1~3年生)

フリガナ			
氏名			
年齢	西暦	年	月 日 生 歳
住所	〒 府 県 市 町 丁目 番 号		
Mail	@		
Tel	() -		
職業(学校名)			
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影場所	撮影機材
202	年 月 日		

確認の上 チェックを いれてください	☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません ☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません ☐ 入賞作品は、主催者・協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名・年齢・作品・顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します ☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません
応募の きつかけ	[1]チラシ(どこで:) [2]学校(小・中・高・大・専門) [3]読売新聞紙面 [4]公式ホームページ [5]日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE 公式アカウント) [6]公募サイト(サイト名:) [7]その他(具体的に)

※氏名は実名のみの受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

応募締め切り

2025年

10月3日(金)

必着

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。
エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも入賞作品について、読売新聞紙上及びその他
広報物に使用する権利は、主催者が有します。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 9月3日(水) 18:30～20:00 ホテルベルフォート日向 ※受講は現地またはWeb	当院での院内連携の取り組みについて 和田病院 臨床検査科 山元 明日香	73 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会内科医会 ギリアド・サイエンシズ(株)
	肝疾患診療の最近の話題 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 小牧 優里	73 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 9月4日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医師会館	身近なものから始める化学物質管理 産業保健相談員 なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長 中甫木 直樹 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第37回認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web講習会) 9月5日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	認知機能障害患者における聴力評価，補聴器と購入費助成制度 吉田病院 認知症疾患医療センター 宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 清水 謙祐 他	29 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度宮崎県 医師会医学会 (Web講習会) 9月6日(土) 15:30～17:35 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	重粒子線がん治療の現状と今後の展開 九州国際重粒子線がん治療センター センター長 塩山 善之	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	かかりつけ医機能報告制度について 日本医師会 常任理事 城守 国斗	12 (1.0)	
第36回宮崎県糖尿病教育セミナー 9月7日(日) 9:55～16:45 延岡市中小企業振興センター5階会議室1 参加費:3,000円	足病変を防ぐ+α 看護師としてできること ～足だけじゃないフットケア～ 平和台病院 糖尿病看護認定看護師 柞木 里美	82 (1.0)	◇主催 ※宮崎県糖尿病懇話会 ☎0985-22-8015 ◇共催 宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構 ノボルディスクファーマ(株) ◇後援 宮崎県医師会 延岡市医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県栄養士会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県糖尿病対策推進会議
	心不全予防としての糖尿病早期介入の重要性 県立延岡病院 循環器内科 主任部長 心臓脳血管センター長 山本 展誉	73 (1.0)	
	糖尿病の食事療法～患者さんの疑問あれこれ～ 延岡市医師会病院 栄養管理室 管理栄養士 牧野 日香里	76 (0.5)	
	糖尿病に関して起こる皮膚病病変 県立延岡病院 皮膚科 医師 後田 優香	76 (0.5)	
	運動療法 ハードルを下げる声かけのヒント 193work代表 健康運動指導士・宮崎地域糖尿病療養指導士 重水 いくみ	82 (0.5)	
	DKD栄養管理のポイント～管理栄養士の視点から～ 県立延岡病院 栄養管理科 管理栄養士 崎田 栞	76 (0.5)	
	糖尿病と歯周病との関係 update 北浦歯科医院 院長 林 正太郎	76 (0.5)	
	明日から外来で活かす! 薬剤師が行う糖尿病療養支援の確認ポイント 延岡市医師会病院 薬剤科 薬局長 三代 朗子	82 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県北部における多職種連携セミナー～高千穂地区からC型肝炎ゼロを目指して～ (Web講習会) 9月8日(月) 19:00～20:00 高千穂町国保病院 中会議室 ※受講は現地またはWeb	肝炎治療の最新的话题～ウイルス性肝炎を中心に～ 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 准教授 永田 賢治	8 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 アッヴィ(同) ☎080-2194-6586 ◇後援 宮崎県看護協会 延岡西臼杵郡薬剤師会
西臼杵郡医師会講演会 (Web講習会) 9月9日(火) 19:00～20:00 ホテルグレイトフル高千穂 ※受講は現地またはWeb	最近の認知症治療とアリドネパッチの活用ポイント ～使用経験からの報告～ メモリーメンタルクリニックみつぐまち診療所 院長 津野田 尚子	29 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※興和(株) ☎0985-24-8175
令和7年度多職種交流研修会 9月9日(火) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会病院 医師会館講堂	ちょっとした工夫で変わる認知症の方と接するポイント ～認知症初期集中支援チームの活動を通じて～ 野崎病院 宮崎市認知症初期集中支援チーム 精神保健福祉士 日高 正智	80 (1.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会地域 包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
いろはに漢方 (Web講習会) 9月10日(水) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講はWebのみ	まずは虚実について 風邪に葛根湯で満足ですか？ ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文	83 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎市郡産婦人科 医会9月例会学術 講演会 (Web講習会) 9月10日(水) 19:00～20:00 宮崎大学ひなた キャンパス2階レ クチャールーム ※受講は現地また はWeb	女性泌尿器科診療について 潤和会記念病院 泌尿器科 部長 月野 浩昌	65 (1.0)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 キッセイ薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 9月10日(水) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	職場労災：腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	60 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 9月12日(金) 19:00～20:00 西諸医師会館大会 議室	循環器診療 update 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 准教授 松浦 祐之介	12 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月17日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の実地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
南那珂医師会地域 保健医学会 9月18日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館2 階大ホール	市民参加で創るまちの幸福～懐かしい未来を考える～ 宮崎県北の地域医療を守る会 事務局長 福田 政憲	7 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
インフルエンザ予防を考えるin宮崎 (Web講習会) 9月19日(金) 19:00～20:00 第一三共株式会社 宮崎営業所 ※受講はWebのみ	変化するインフルエンザワクチン戦略 －2025/2026シーズンに備えて 新潟大学 医歯学総合研究科 小児科学 教授 齋藤 昭彦	11 (1.0)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎080-1393-2113
令和7年度宮崎県 産婦人科医会・宮 崎県産科婦人科学 会市民公開講座・ 秋期定時総会・学 術講演会 (Web講習会) 9月20日(土) 15:00～18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	産科出血への対応 順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 教授 牧野 真太郎	10 (1.0)	◇主催 宮崎県産婦人科医会 ◇共催 宮崎県産科婦人科学 会(連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度宮崎県 緩和ケア研修会 9月23日(火) 8:35～16:50 県立宮崎病院1階 講堂	e-learningの復習・質問 県立宮崎病院 緩和ケア科 主任部長 義川 祐子 他	15 (0.5)	◇主催 ※県立宮崎病院 ☎0985-24-4181
	コミュニケーション 井上病院 精神科 医師 並木 薫 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎医療センター病院 緩和ケア内科 部長 高橋 稔之 他	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 藤木病院 院長 藤木 啓 他	13 (1.5)	
	がん患者等への支援 県立宮崎病院 患者支援センター 師長 谷川 ルミ 他	5 (0.5)	
第197回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 9月25日(木) 19:00～20:15 宮崎観光ホテル東 館2階「初雁の間」 ※受講はWebのみ	心不全診療を補強するデバイス治療 熊本大学 生命科学研究部 循環器内科学 教授 辻田 賢一 他	0 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本メドトロニック(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度第3回 宮城県緩和ケア研 修会 9月27日(土) 9:00～17:30 都城医療センター 外来管理棟2階大 会議室	コミュニケーション 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 船橋 英樹	4 (1.5)	◇主催 ※都城医療センター ☎0986-23-4111
	全人的苦痛に対する緩和ケア 都城医療センター 放射線科 医長 新村 耕平	81 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 助教 緩和ケアセンター長 山賀 昌治	12 (1.5)	
令和7年度第13回 宮城県輸血懇話会 (Web講習会) 9月27日(土) 13:30～16:30 宮城県企業局県電 ホール ※受講は現地また はWeb	輸血用血液製剤の安全性と最近の話題について 日本赤十字社 九州ブロック血液センター 学術情報課長 熊本 誠	7 (0.5)	◇主催 ※宮城県赤十字血液センター ☎0985-50-3100 ◇後援 宮城県 宮城県医師会 宮城県薬剤師会 宮城県看護協会 宮城県臨床検査技師会 日本・輸血細胞治 療学会九州支部
	看護師に知っておいてほしい輸血副作用 宮城県赤十字血液センター 所長 鈴木 斎王	7 (0.5)	
	輸血検査における最近の話題について 富士フイルム和光純薬(株) 臨床検査薬学術開発本部 西日本学術部 山下 省一	7 (0.5)	
	安全な輸血療法実施のためのチーム医療について 日本赤十字社 東京都赤十字血液センター 所長 牧野 茂義	14 (1.0)	
令和7年度看護師 の特定行為に関す る研修会 (Web講習会) 9月29日(月) 13:30～15:10 宮城県防災庁舎74 号室 ※受講は現地また はWeb	特定行為看護師の活用と活動状況について 宮崎江南病院 特定行為看護師 中西 優貴 他	10 (1.0)	◇主催 ※宮城県福祉保健部医療政策課 ☎0985-26-7450

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県内科医会学 術講演会 (Web講習会) 10月1日(水) 19:00～20:00 KITENビル8階 コンベンション ホール中会議室 ※受講は現地また はWeb	プライマリケア医のための間質性肺疾患の画像診断の ポイント 宮崎東病院 呼吸器内科 部長 松元 信弘	12 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※日本ベーリンガー インゲルハイム(株) ☎080-2183-9282
	プライマリケア医のための間質性肺疾患の早期紹介の ポイント 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授 柳 重久	45 (0.5)	
令和7年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大 腸がん検診研修会) (Web講習会・TV 会議) 10月2日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館ま たはZoomウェビ ナー及びTV会議 8会場 (都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那 珂, 西諸, 西臼杵)	肺がん検診 宮崎大学医学部附属病院 放射線科 講師 中田 博	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がん検診について 宮崎江南病院 院長 白尾 一定	11 (0.5) (乳)	
	胃がん検診と胃炎・胃がんの内視鏡診断 潤和会記念病院 消化器科 部長 宮崎 貴浩	12 (0.5) (胃)	
	大腸がん検診, 総論, 検体の処理, 精度管理の実際 古賀総合病院 消化器内科 部長 田井 博	82 (0.5) (大腸)	
令和7年度依存症 地域対策支援事業 依存症支援者研修 会 10月4日(土) 13:00～17:00 延岡市社会教育セ ンター1階会議室	やめさせたら依存症は治るのか? ～相手をわかろうとすること～ 国立病院機構さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之	5 (1.0)	◇主催 宮崎県障がい福祉 課(吉田病院受託) (連絡先) 吉田病院 ☎0982-37-0126
	問題解決しない事例検討会の理念 全国の活動と宮崎県の取り組み 問題解決しない事例検討会 国立病院機構さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之	5 (3.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第2回宮崎免疫栄養と腸内細菌の会 (Web講習会) 10月10日(金) 18:30～19:30 宮崎大学医学部臨床講義室105 ※受講は現地またはWeb	健康の土台をつくる腸内細菌の科学 京都府立医科大学 医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授 内藤 裕二	54 (0.5)	◇主催 第2回宮崎免疫栄養と腸内細菌の会 ◇共催 ※ミヤリサン製薬(株) ☎099-813-0720
宮崎県医師会産業医研修会 10月15日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎CKD連携セミナー (Web講習会) 10月16日(木) 19:00～20:15 KITENビル ※受講は現地またはWeb	CKDはLTEP(Long term eGFR plot)で診る時代 ～フォシーガ適応症例早期発見の重要性～ 市立大津市民病院 内科部長（腎臓内科部門） 血液浄化部 診療部長 中澤 純	19 (1.0)	◇主催 宮崎県透析医会 ◇共催 アストラゼネカ(株) 小野薬品工業(株) ◇後援 宮崎県薬剤師会 宮崎県医師会 (連絡先) 小野薬品工業(株)九州 沖縄支店宮崎営業所 ☎080-2472-0479

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第73回宮崎県スポーツ学会 10月18日(土) 15:00～18:30 宮崎県医師会館 参加費:1,000円	ハイパフォーマンススポーツセンター栄養グループの取り組み 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部門 副主任研究員 元永 恵子	21 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	野球の投球動作におけるバイオメカニクスの評価とトレーニング 帝京大学スポーツ医科学センター 講師 大川 靖晃	61 (1.0)	
	アスリートをどう支えるか？予防・PRP・現場連携の実際と課題 順天堂大学 整形外科 准教授 運動器再生医学講座 特任教授 齋田 良知	10 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月22日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	自殺対策について 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎県産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 10月23日(木) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	行動科学の産業保健への応用 産業保健相談員 宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授 黒田 嘉紀	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎県産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 10月23日(木) 19:00～20:00 西諸医師会館会議室 ※受講は現地また はWeb	腰痛関連疾患と神経障害性疼痛 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科分野 教授 亀井 直輔	60 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株)
皮膚の日講演会 (Web講習会) 11月9日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地また はWeb	食物繊維と腸内細菌 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・ 日本臨床皮膚科医会 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 日本医師会 NHK 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
宮崎県医師会産業 医研修会 11月12日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務 的研修 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の实地研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月19日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月20日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	身近なものから始める化学物質管理 産業保健相談員 なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長 中甫木 直樹 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月26日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務 的研修 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の実地研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第16回はまゆう整 形外科セミナー 11月29日(土) 17:00～18:00 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」 参加費：1,000円	骨粗鬆症がなければHip fracture(HF)はない？ HFについて語るときに僕の語ること 小牧病院 院長 小牧 亘 ----- 変形性股関節症～知識のアップデート～ 小牧病院 坂本 武郎	77 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整 形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	e	a	d	a	a	b	e	c	b, c, e

医師年金

<認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

保険料は
いつでも自由に
増減できます！

予定利率は1.5%
（令和7年4月現在）

年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金だけでは現役時代の生活水準の維持が難しい
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい

1つでも該当したら…

余裕資金を随時払って
上限なく増額
できます

事務手数料は
払込保険料に対して
0.25%だけです

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！



医師年金 検索

<https://nenkin.med.or.jp>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額シミュレーションができます。
ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp



診療メモ



子どもの健やかな成長のために 妊婦さんから睡眠教育を～睡眠は心と体の栄養～

はるやま医院 ^{や の み ゆ き}
矢 野 美由紀

皆さんの睡眠時間はどのくらいでしょうか？令和元年の国民健康・栄養調査結果において、1日の平均睡眠時間が6時間未満の者の割合は、男性37.5%、女性40.6%でした。

睡眠不足は、日中の眠気や疲労に加え、頭痛などの心身愁訴の増加、学業成績の低下など多岐にわたる影響を及ぼし、事故などの重大な結果を招く場合もあります。また、さまざまな睡眠の問題が慢性化すると、糖尿病や心疾患など発症リスクの上昇や症状の悪化に関連し、死亡率の上昇にも関与することが明らかとなっています。また、うつ病などの精神疾患と睡眠の問題は相互に影響するという報告もあります。

子どもの睡眠時間も短縮しています。「健康づくりのための睡眠ガイド2023」では、小学生は9～12時間、中学・高校生は8～10時間の睡眠時間の確保を推奨しています。しかし、「子ども睡眠健診プロジェクト」によると、小学校1年生から高校3年生までのすべての年代でおおむね半分以上の子どもたちが推奨睡眠時間を満たしていないそうです。9時間の睡眠時間を確保する場合、起床時刻が6時半であれば21時半に寝ることになります。私たちが小学生のころは、20時台には「もう遅いから寝なさい！」と親から叱責されました。しかし、最近では声をかけるのが22時ごろに後退、もしくは声かけが全くないという状況になってきているようです。

子どもにとって生活の夜型化と睡眠時間の短縮は、睡眠・覚醒リズムの不安定化、中途覚醒や夜泣きといった睡眠自体の問題や、日中の強

い眠気や情動の不安定さなど学校生活に直接影響する問題などを引き起こし、子どもの健やかな成長を妨げています。

今回は睡眠の役割と安定した生活リズム、睡眠の工夫についてお伝えします。

I 睡眠の役割

そもそも睡眠はただ横になっているのではありません。睡眠中もさまざまな仕事をこなしています。

① 脳の疲れをとる

一日活動した神経細胞には老廃物が産生されますが、その老廃物を洗い流すのに効率的である時間帯は睡眠中です。老廃物の一つであるアミロイドβを洗い流せず蓄積するとアルツハイマー型認知症を発症します。認知症予防のためにも明日すっきりと頭を働かせるためにも、十分な睡眠時間の確保は重要です。

② 脳を育てる

睡眠中に記憶にとって重要な海馬が成長します。子どもの成長において、脳を育てることはとても重要です。

③ 記憶を整理する

これまでの経験や今日学んだことの中から重要だと判断したものを切り抜き、長期記憶の棚に入れ込みます。就床時刻の早い児童の方が高い偏差値であった報告や睡眠時間の延長により足が速くなる・シュートが入るようになるといった報告があります。

④ 体をつくる

睡眠中に細胞の点検・修復をしたり、ホルモンの分泌を調節したりしています。例えば、眠る1～3時間前から眠るためのホルモンであるメラトニンが、寝入ってぐっすり眠っているときに成長ホルモンが、起きる数時間前からコルチゾールが分泌されます。

II 体と心を元気に育てるための「睡眠を中心とした生活リズム」とは

どの年代でも平日と休日の起床時刻をそろえることが重要です。休日に遅くまで寝ていると、時差ぼけが発生し、体調を崩れやすくなります。特に思春期は自然と夜型に移行する傾向があるため、不登校へとつながる可能性もあります。少しでも平日の睡眠時間を延ばし、休日と同じ時刻に起きられるように工夫しましょう。

① 妊娠中の生活

お母さんのおなかの中で、胎盤を通過するメラトニンを介して昼夜差のある光環境を感じています。つまり、お母さんが規則正しくメラトニンを分泌することが重要です。

▷ 同じ時刻に起きる

▷ カーテンを開けて朝の光を感じる

▷ 朝食をとる

▷ 夕方以降、部屋の光を暖色へ

▷ 寝る2時間前から電子メディアを使用しない

② 出産後の生活

新生児期はメラトニンを分泌できず、ほぼ2～4時間睡眠の繰り返しで生活し始めます。夜の暗さや昼間の明るさを経験しながら、お母さんから全身に受け継がれた時計機能を取りまとめ、中枢時計を完成させます。新生児から睡眠・覚醒の安定したリズムの獲得に手助けしてあげましょう。

例：7時に起きて、20時に寝るイメージ

▷ 寝ていなくても20時には暗い部屋にいて、起きていなくても7時にはカーテンを開けて部屋を明るくするか明るい部屋へ移動する

▷ 入浴は日中もしくは夕方には行う

▷ 暗い部屋の中では、スマホ・タブレットなど光を発するものを使わない

▷ 夜中の授乳もなるべく暗い中で静かに行う

③ 幼稚園・保育園

小学校入学時自分で起きられるようになっていると保護者が楽をします。必要な睡眠時間は個人差がありますが、小学校低学年までは夜間の睡眠時間が10時間必要だと言われています。起床時刻は決まっていますので、就床時刻を決定し毎日同じ時刻に声をかけて眠る習慣をつけましょう。寝室に入って絵本を読み、子どもの話を聴いたり抱きしめたり安心して眠れる環境を作ります。このころから自分の気持ちを表現し保護者に話す習慣をつけておけば、思春期にも関係性を維持しやすいことでしょう。

III よりよい睡眠を得るための工夫のまとめ

▷ 次の4項目で体内時計をリセットし、1日をスタートしましょう

- 太陽の光（起床後すぐにカーテンを開けて光を浴びる）
- 食事（起床から時間をあけずに摂取し脳と胃の時計を合わせる 朝食のたんぱく質は眠るためのメラトニンの材料になる）
- 運動（登校・通勤で体を動かせると一石二鳥）
- 会話

▷ 夕方以降は睡眠に向けて準備しましょう

- 居眠りをしない
- カフェインをとらない
- ぬるめのお風呂が好きな方は1時間前に、熱い風呂が好きな方は夕食後・早めの時間に入る
- 光（特にブルーライト）を浴びないようにする
 - 部屋の照明を変えましょう（昼は白色の照明、夕方以降は暖色の照明へ）
 - 夜にコンビニエンスストアやお店に行かないようにしましょう
 - 寝る2時間前からテレビ・スマホ・ゲームなどを使わないようにしましょう

▷ 平日と休日の起床時刻をそろえましょう

- 休日の起床時刻を平日の起床時刻と同じにする
- 体内時計をずらさないためには遅くとも1～2時間のずれまでといわれています（子どもにも適用できるかどうか疑問です）

宮大医学部学生のページ



室内楽部活動紹介

宮崎大学医学部 医学科3年 ^ささ ^だ田 ^か佳 ^ほ歩

今回は室内楽部の紹介をさせていただきます。その前に室内楽とはなんだろうと思う方もいらっしゃると思います。室内楽とは少人数で行うアンサンブルのことです。私たちは顧問の山下篤先生，外部講師として指揮者の土田浩先生のもと，総勢33名で楽しく活動しています。初心者から経験者までさまざまな部員が在籍しており，音楽を奏でることの楽しさを皆で共有しています。初心者にとって，弦楽器をいきなり弾くことはとても大変なことです，経験者の方に教えていただきながら少しずつ成長しています。私たちはヴァイオリン17名，ヴィオラ6名，チェロ8名，コントラバス2名の編成で音楽を作りあげています。豊かな響きと心温まる音色が弦楽器の魅力です。クラシック音楽だけでなく，映画音楽やポップスまで多岐にわたるジャンルを演奏します。普段は講義棟の教

室を使って，水曜日と木曜日にアットホームな雰囲気の中で練習しています。また月に2回ほど土田先生にご指導していただいています。土田先生はどんな背景で作曲されたのかなど音楽の歴史から教えてくださいます。その教えのもと，それぞれの楽曲に込められた感情や情景を理解し，表現できるようになることを目指しています。難しいパッセージの練習やアンサンブルの調整など時に困難に直面しながらも粘り強く努力しています。アンサンブルはソロとは違って全員で息を合わせて弾かなければならないのでとても難しく，何回もリズム，強弱，音色，その曲のイメージを確認します。ピッタリとあったときの喜びはとても心地よいものです。

室内楽部では年に2回，日頃の成果を発表する機会があります。最近では6月21日に医学部音楽祭に出演しました。今年は例年行われてい



第22回音楽祭終了後の記念撮影

る清武文化会館ではなく宮崎市民文化ホールでの開催ということもあり、来場者数が減ってしまうのではないかと心配していましたが、たくさんのお客様にご来場いただき盛況でした。

そのときに演奏した曲の紹介をさせていただきます。演奏した曲はオットリーノ・レスピーギ作曲「リュートのための古風な舞曲とアリア」第3組曲です。この曲はリュートの音楽を基に、バロック時代の舞曲やアリアが現代的に再編曲されています。

第1楽章「イタリアーナ」は、中世のイタリア音楽らしさが全面にあらわれた、懐かしくも哀愁の漂うメロディが魅力的です。チェロのピチカートがリュートの伴奏形を表現しています。

第2楽章「宮廷のアリア」は、いくつかのアリアを1曲にまとめており、それぞれに〈お前に恋することは悲しい〉〈さようなら、羊飼いの女よ、永遠に〉〈はっきりと見つめる愛らしい眼〉などの原題がついています。

第3楽章「シチリアーナ」は、シチリア島発祥の舞曲で、物憂げで叙情的なメロディと、付点のリズムが特徴的な8分の6拍子の曲です。全体的に変奏曲形式で書かれており、どこか物悲しげで優雅なメロディを奏でます。

第4楽章「パッサカリア」は、16～17世紀にイタリアやスペインをはじめヨーロッパ中で流行した3拍子の舞曲を指します。終章に相応しい終止感、重厚感のある曲です。このような背景を知ったうえで聴いていただくととても面

白いと思います。機会がありましたら聴いてみてください。

次は12月27日(土)清武文化会館 半九ホールで第13回定期演奏会が行われます。練習の成果を発揮できる大切なステージです。曲目は検討中ですが、皆様によりよい音楽をお届けできるよう部員全員で練習を頑張りたいと思います。毎年クラシックとポップスの両方を演奏しています。弦楽器のよさを感じていただければと思います。年の瀬でご多忙かと思いますが、ぜひ皆様お誘い合わせのうえ、会場に足を運んでいただき、私たちの演奏で楽しいひと時を過ごしていただければと思います。

また新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまった院内コンサートも今年も行いたいと考えています。音楽を通して少しでも患者さんの心が癒される時間を作ることができればと思います。心のケアにもつながる活動も大切にしていきたいです。

演奏をお客様に聴いていただくことで、私たちも音楽的にそして人間的にも成長していけると思っています。演奏の機会を与えてくださる方がいらっしゃいましたら、お声かけいただけるととても嬉しいです。

私たち室内楽部はこれからも美しい音とハーモニーを作り出せるように日々の練習に励んでいきます。今後とも室内楽部をよろしくお願いいたします。



第12回定期演奏会の様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
8月5日	・ブラウザゲーム「日医君のわくわくミニゲーム！」導入に関する周知へのご依頼 ・令和7年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・令和7年度厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」における「在宅医療に必要な連携を担う拠点における在宅医療体制整備に関する実態調査」の実施について（周知依頼） ・国・地方公共団体、公共・公益法人等が開設する医療機関における新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（医療分）の病床確保料に係る消費税の取扱いについて ・日向市子ども医療費助成制度の改正について（依頼） ・第37回（令和7年度）健康スポーツ医学講習会の開催について ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項の送付について ・令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その3）
8月8日	・「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第2弾）」動画のダウンロードサイトについて（周知依頼） ・医療DXに関するシステムの導入・運用に当たり活用できる事業について ・後期高齢者に係る資格確認書の暫定運用におけるマイナ保険証等の取扱いについて ・保険者からの再審査請求に係る症状詳記依頼文書への写しレセプトの添付について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・令和7年度院内感染対策講習会（講習会①）の受講者の決定について ・「使用上の注意」の改訂について ・「特別用途食品に関する質疑応答集」の一部改正について（周知依頼）

送付日	文 書 名
8月12日	・令和7年10月以降の医療DX推進体制整備加算等の要件の見直しについて（10月よりマイナ保険証利用率の実績要件が引き上がります） ・疑義解釈資料の送付について（その28） ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・主に歯科の入院患者を受け入れる病棟の重症度、医療・看護必要度の取扱いについて ・令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）における【第1部】「全国の各メディカルコントロール協議会における活動の情報交換会」の演題公募について ・いじめ重大事態調査に係る調査委員候補者を対象とした研修会の実施について（周知依頼） ・防災推進国民大会2025の開催について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和7年度8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2）
8月15日	・スマートフォンに搭載されたマイナ保険証への対応に係る費用補助等について（周知） ・経済産業省による令和6年度補正予算省エネ補助金の3次公募期間等について（情報提供） ・今夏の新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に備えた保健・医療提供体制の確認等について ・第25回医療経済実態調査（医療機関等調査）の協力依頼について ・令和7年度「防災週間」及び「火山防災の日」について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その3） ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その4）～（その5） ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その6）

送付日	文 書 名
8月19日	・厚生労働省による地域医療構想の取組の推進に向けた調査について ・「令和7年度医師の働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査」について（協力方依頼） ・「女性医師・シニア医師の活躍に向けた病院・有床診療所調査」協力のお願い（依頼） ・今夏の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた保健・医療提供体制の確認等について ・セプター通信（CEPTOAR通信）の発出について（2025年度全分野一斉演習参加者募集） ・日本医師会サイバーセキュリティ支援制度サポート詐欺の注意喚起のチラシについて（周知依頼） ・熱中症対策のための高齢者への見守り・声かけについて ・長時間の利用に対する自動解錠機能等のあるバリアフリートイレについて ・令和7年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・チクングニア熱等に関する注意喚起について ・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の国内での発生状況について ・令和7年度に発生した災害により被災した医療施設等に係る災害復旧費補助金の活用意向の報告について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その7）～（その8） ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その9） ・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律施行令第二条第二項の市町村を定める省令の一部を改正する省令の公布について
8月22日	・「電子処方箋管理サービスの運用について」の補足について ・ダミーコードに係る電子処方箋管理サービスの改修に伴う対応について ・夏季の省エネルギーの取組について（周知依頼） ・新たに薬事審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について ・患者向医薬品ガイド検討会のとりまとめについて ・令和7年度（第76回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・注射用サイメリン50mg及び注射用サイメリン100mgの有効期間の延長について ・「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について（病床機能報告の継続に係る所要の改正） ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の被災者の「公害健康被害の補償等に関する法律」「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」「石綿による健康被害の救済に関する法律」等に係る公費負担医療の取扱いについて ・令和7年8月20日からの大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和7年8月20日からの大雨にかかる災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年8月20日からの大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年8月20日からの大雨にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について

送付日	文 書 名
8月26日	・令和7年度健康長寿推進企業等知事表彰の募集及び周知について（依頼） ・地域医療構想の取組の推進に向けた調査について（依頼） ・スマートフォンに搭載されたマイナ保険証への対応に関する補助事業の開始について（周知） ・宮崎県薬事関係オンライン手続について ・宮崎県後期高齢者医療広域連合の被保険者に係るオンライン資格確認システムと資格確認書の負担割合及び区分の相違における令和7年8月分診療報酬明細書作成時の留意点の周知協力依頼について ・日本医師会員向けキャッシュレスサービスの決済端末変更の件 ・医薬品等マスタの設定等にかかる点検報告について（対応依頼） ・第56回全国学校保健・学校医大会の事前参加登録の期間延長について ・認定産業医および認定健康スポーツ医に係る研修会（講習会）検索サイトについて ・「介護情報基盤ポータルサイト」の公開について ・「病院又は診療所における診療用放射線の取扱いについて」の一部改正について ・令和7年8月20日からの大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年8月20日からの大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について
8月29日	・厚生労働省が行う保険医療材料等使用状況調査に対する協力について ・日本医師会「健康食品安全情報システム」事業へのご協力について ・「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」に関するWeb説明会へのご参加のお願いについて（協力依頼） ・水銀血圧計等の回収促進に向けた周知及びアンケート調査への御協力について（依頼） ・成長曲線・肥満度曲線による発育評価関係の参考様式等について ・保護者の思想信条等に起因する医療ネグレクトへの対応について（令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業の報告書の内容及びそれを踏まえた取組） ・休業日明けの時期等における熱中症事故の防止について（依頼） ・再生医療等の提供に関連した「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づく手続等について（再周知）（通知） ・令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）における【第2部】「パネルディスカッション」の演題及びパネリストの公募について（情報共有） ・科学的介護情報システム（LIFE）研修会の周知について（2025年度） ・「ドナマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部改正」及び「ドナマブ製剤の使用に当たっての留意事項」について ・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律及び臨床研究法の一部を改正する法律の施行等に伴う再生医療等の各種申請等のオンライン手続サイト及び臨床研究等提出・公開システムにおける取扱いについて」の一部改正について ・ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する結腸・直腸癌）の一部改正について ・「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について（通知） ・令和7年8月20日からの大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介します。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



この夏、皆様いかがお過ごしでしたか？私は、今年も埼玉西武ライオンズの本拠地ベルーナドームで野球観戦しました。初日の楽天イーグルス戦は8回裏に5点をとって9対4で逆転勝ちでした。2日目は逆に8回表に5点を取られて4対9で逆転負けしました。2連勝とはなりませんでした。食事を楽しみつつビールを片手に

レフトスタンドから熱い応援ができ、よい夏休みになりました。

ベルーナドームは、もともと屋外の西武球場を改修したので、完全な空調設備がありません。今年は、暑さ対策として観客席にミスト噴射装置が設置され、冷却タオルも配布されていました。他のドームと比べて暑いという評判も聞かれますが、去年よりも改善されていると思いました。

現地には行けませんでした。高校野球も面白かったです。私の推しは県岐阜商の横山選手です。彼は生まれつき左手の指が欠損しているのですが、攻守にわたる活躍で聖地を沸かせてくれました。

野球の他には、ジムに通い始めました。猛暑のため、屋外でのランニングを控え、涼しい室内で快適にトレーニングしています。軽めのランニングのあと、バックスクワット、懸垂、シーテッドロー、チェストプレスをそれぞれ3セットずつ行います。12月の青太に向けて走れる体づくりを、無理せずやっていこうと思います。9月も日中はまだまだ暑そうです。体調管理に注意して過ごしていきたいと思います。(高村)

* * *

神戸の24歳女性刺殺のニュースが流れております。遠方に暮らす娘が心配になります。驚くべきことに犯人は3年前にも殺人未遂を起こしております。このような人間を野放しにする判断をした者には罪はないのでしょうか？日本は性犯罪を含め、犯罪者に甘すぎます。少しでも再犯の可能性がある者の人権は制限されなければ、安心安全な社会は築けないと思います。(菊池)

* * *

久しぶりに多発性嚢胞腎の患者さんを診ました。これを機に、治療薬トルバプタンの処方資格を得るため製薬メーカーのe-Learningを受講しました。さらに多発性嚢胞腎協会に入会し、認定医の試験を受けることにしました。昔から試験がないと勉強に身が入らない性格で、長時間の指定動画を観ながら最新知見を学んでいます。今回特に驚いたのは、遺伝形式の呼称が「顕性遺伝・潜性遺伝」に変わっていたことです。知識の更新を怠ってはいけないと痛感しました。(下窪)

* * *

7月27日に日本在宅ケア・サミットにWeb参加しました。厚生労働省の官僚が言うには、コロナ禍で顕在化した医療介護の課題は、2040年に直面する日本の医療介護の姿を先取りするものであり、在宅医療の機能強化が不可欠とのことでした。地域医療構想の拡充と在宅医療の重要性を強調し、持続可能で包括的な医療・介護体制づくりを目指す、とのこと。今後の医療は「入院」から「外来」、「在宅医療」にシフトしていく予定だそうです。

(國枝)

西医体に出場してきました。今年は鳥栖での開催であったため、移動が楽でよかったです。コロナ禍で中止されていた西医体が再開して3年、顔馴染みの学生もできて、試合以外の部分でも大いに楽しめました。久留米に宿泊したので3日連続でラーメンを食べました。学生ラーメン580円。宮崎ではなかなか見るのできない破格の安さで、ラーメン大国の底力のようなものを感じました。(宮本)

* * *

夏休みに福岡と阿蘇へ旅行に行きました。福岡では如意輪寺と糸島を訪れ、阿蘇では草千里ヶ浜、山吹水源、菊池溪谷に行きました。如意輪寺では、たくさんの風鈴が道を囲むように飾られており、幻想的で美しかったです。草千里ヶ浜では、広大な高原で放牧されている馬を間近で見ることができました。菊池溪谷では水遊びも楽しめました。水が非常に澄んでいることに加え、足が痛くなるほど冷たく、風景を楽しみながら涼むことができました。心身ともにリラックスできた旅となり、大満足でした。(家村)

* * *

読書？はもっぱらAudibleになりました。時代小説を聴いています。プロの読み手のおかげで、色やにおい、喧噪を伴って活気に満ちた江戸の町が浮かび上がり、脳内のスクリーンでドラマが展開されていきます。積読の本がかさばり出し、10年ほど前から読書はKindleになりました。このところの眼精疲労もあり、今度は耳へ移りました。存外に目からは違う新鮮な世界を発見しています。先日、紙でなければ本当に読書したとは言えないなどとしきりに口にしてた妻が、台所で“新宿鮫”を聴いているのを耳にしました。(田畑)

今月のトピックス

随 筆

北村先生の随筆をこれまでも読ませていただいています。ブルーベリーを守ってくれていた愛犬にはいろんなエピソードがあるのですね。次が楽しみです。随筆には各先生方の思いが込められています。皆さんお楽しみください。 6 ページ

エコー・リレー 目標

登山いいですね。富士山、一度は登ってみたいですが膝が悪いので無理でしょうか。チャレンジしてみたくなりました。 17 ページ

各都市医師会だより

この時代、いろいろと考えさせられることがあります。各先生方のご意見、参考になります。 24 ページ

部会だより

ワクチンについて否定的な意見がSNSなどで飛び交っています。インフルエンザワクチンの有効性が示されています。確かな情報が大事です。 29 ページ

診療メモ 子どもの健やかな成長のために妊婦さんから睡眠教育を～睡眠は心と体の栄養～

子どもの成長に睡眠、大切ですね。日常の診療でへとへとの方たちにとっても睡眠が一番です。今日も早く寝ます。 76 ページ

(文責：石田 康行)

日 州 医 事 第913号 (令和7年9月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)